新眞婦人

SHIN SHIN FUJIN

新眞婦人

新年號

〔第三十三號〕

家庭改良の要點　西川文子
家庭の組織的研究　東京音樂學校長　湯原元一
日本婦人の個性なき所以　高島平三郎
淘宮によりて婦人の性癖矯正されたる爲め家庭圓滿となりし實話　革新淘宮術會長　竹内師水
小供の育て方　西村卜堂
容貌よりは精神　江木博士夫人
簡袖と公の招待狀と　加藤ドクトル夫人
衣服の改良を思立つた動機　入澤博士夫人
家庭より病魔と陰鬱とを驅逐する最簡便法　西川光次郎
名笛望月　淸水玉露
食養の話　食養會幹事　西端學
健康の爲めに日光を利用せよ　ドクトル　渡邊鼎
自然療法講義（一）　ドクトル　葛岡宗吉

大正五年一月一日發行（每月一回一日發行）大正二年四月二十六日
第三種郵便物認可（大正四年十二月二十八日印刷納本

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

看護婦見習生募集

年齢十八歳以上
學力尋常小學卒業以上
品行方正ニシテ傳染病チ有セザル女子ニ限ル

院長診察 月、水、木、金、午前
林、峰間、兩副長ハ目下當院に在勤
東京麹町區三番町三十番地（市ヶ谷見附內）
電話番町六二番 **東洋內科醫院**
院長 醫學士 **高田畊安**
電話ちがさき二番 **南湖院**
相州茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋、兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後。入院、診後應需

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

現代唯一のしらが赤毛染はナイス

東京も大阪も大流行

ナ五■タッタ二十分で染ります。
イ大■自然の髪と違はぬ艶黒々と。
ス特■永く剝げず洗ふて褪めず。
の長■襟や枕に浸着せず、そして。
■用法は至極簡單です。

價
男子用 金二十五錢
小瓶 金三十五錢
大瓶 金六十錢

發賣 大阪、東京 丹平商會
全國到る處の藥店化粧品店に販賣す

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

嬉しきホ子ームーンにも樂しきスウヰートホームにも均しく

改正定價表

本法實母散	壹貼	金拾錢
同	參貼	金參拾錢
同	五貼	金四拾五錢
同	七貼	金六拾錢
同	拾四貼	金壹圓貳拾錢
同	廿一貼	金壹圓大拾錢
同	參拾貼	金貳圓拾錢

送料

二錢	二錢	二錢	四錢	六錢	八錢	八錢

實母散によりて得たる婦人の健康が第一なり

喜谷實母散 主治能効

- 子宮病
- 血の道
- 白帶赤帶
- こしけ
- 下腹痛み
- 足腰冷込
- 氣ふさぎ
- 産前産後
- 逆上頭痛
- 難産流産
- 月經不順
- 經期腹痛

本舖 東京市京橋區中橋大鋸町 喜谷市郎右衛門

新年號目次

表紙（平和の家庭に咲く四季の花） 菊地入峰筆
口繪（男に代りて諸種の勞働に服せる露西亞の女）
扉（忘れられぬ少女）、ゆめぢ

家庭改良の要點 西川文子…（二）
家庭の組織的研究 東京音樂學校長 湯原元一…（六）
日本婦人の個性なき所以 高島平三郎…（八）
はるのうた 唐澤純正……（一〇）
淘宮によりて婦人の性癖矯正されたる爲め家庭圓滿となりし實話 革新淘宮術會長 竹内師水…（一一）
小供の育て方 西村卜堂…（一六）
短歌 小川秀岳……（一九）
名笛望月 清水玉露…（二〇）
容貌より精神 江木博士夫人 江木欣々…（二二）
家庭改良と云ふことに就て 隱明寺しのぶ…（二四）
筒袖と公の招待狀 加藤ドクトル夫人 加藤さき子…（二七）

衣服の改良を思立つた動機　入澤博士夫人　入澤常子…(二九)
黒き瞳　上野さくら子……(三二)
家庭より病魔と陰欝とを驅逐する最簡便法　西川光次郎…(三三)
食養の話　食養會幹事　西端學…(三五)
健康の爲めに日光を利用せよ　ドクトル　渡邊鼎…(三八)
自然療法講義(一)　ドクトル　葛岡宗吉…(四〇)
家庭の純潔　久留天豪……(四三)
自覺と誠　明星……(四三)
電氣應用の進步……(四四)
戀醫女と人生と　小生夢坊…(四五)
三十女の日記　東大寺多代…(四八)
大正新時代の龍宮　中南定太郎……(五一)
昨今　天川陽子…(五二)
編輯の後　文子……(五六)

一月一日發行

春の家庭の讀物

讀賣新聞主筆 五來素川先生譯

■第八版

増補縮刷

未だ見ぬ親

挿畫五葉 定價壹圓 郵稅金八錢

■年始進物に絶好——空前の家庭小說■

■エクトルマロー大傑作——原書二百五十版■

■譯文流麗且簡易——大人小兒の共通讀物■

■歐米の各國語に譯出——清新純潔多趣味■

■十年來我家庭大歡迎——文部省認定圖書■

安井哲子先生著

久堅町にて

定價壹圓 郵稅八錢

發兌 東京京橋尾張町 警醒社書店 振替東京五五參番

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

營業品目

金銀盃、木盃
寶石入指輪
金銀白金ブローチ、ピン、金銀男女用時計、鎖
金銀製眼鏡、卷煙草入
美術金銀銅製花瓶置物
各種徽章、賞牌調製
（詳細目錄定價表無代送呈仕候）

東京下谷池之端仲町
玉寶堂
電話下谷長九六五 一二四四番

▼袴はいらず着物は汚れず運動には便宜で男女とも和洋服何れにも適し長短も自由に着脱輕便最も上品に最も經濟なる實用向理想の小兒上服にして教育各大家のお褒めにあづかりしものなり

スクールコート
學校服

上等黑毛繻子製特價

▼一尺六寸	一圓五十錢
▼一尺八寸	一圓六十錢
▼二尺	一圓八十錢
▼二尺二寸	一圓九十錢
▼二尺四寸	二圓十五錢

●外に送料一着に付內地十二錢

製作發賣 東京神田裏神保町七 振替東京三一一二七
大森商店

日向きむ子著

〔製本既成〕

（愈よ出づ）

銀と藍

四六版美本◎定價八十五錢◎送料八錢

◎折にふれ　新渡戸博士著　定價一圓二十錢　送料八錢

◎道の話　南條博士著　定價九十錢　送料八錢

◎國民二十訓　大隈伯爵著　定價八十錢　送料八錢

見よ!!　嚴肅なる新生活の告白文

浮薄なる虚榮婦人と謠はれたる日向女史は三越にも白木にも足踐をせず牛乳や香水の風呂にも入らず『檜御殿』にも住はず貴婦人の生活もなさず極めて嚴正に且敬虔なる信念を抱きて意義ある理想の生涯を送れり彼女は此著に因りて社會の誤解をとき其の眞生活を語りて自己の立場を明かにせり彼女は天然の銀色と藍色とに因り其情想を養ひ人格を建造せり其の優麗なる詩筆を以て叙したる此書は永久に光を放たん

發行所

東京麴町三丁目
振替東京七八四七

丁未（ていび）出版社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

謹賀新年

三階 二階 階下

大陳列場

御婚禮道具一式調製

清

東京市京橋區金六町角

鷲塚高等簞笥店

電話京橋 五百七十一番
三千四百五十五番
振替東京 一九三七〇番

商品目錄送呈

第一向島工場

向島隅田村一三六九番
電話本所五百二十六番

男に代りて(1)小用達 (2)御者 (3)鐵道馬車の車掌 (4)門番 (5)鎖匠 (6)郵便局員
(7)新聞賣り (8)勞働者 (9)旋盤工 (10)農夫、となれる露西亞の婦人

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新春の好讀物 ＊＊＊＊＊
＊＊＊＊＊＊＊ 文壇の珍書

高田文相序
坪内博士補修
中島孤島譯述

正史上のロマンス （新刊）

四六版天金美本
紙數四百餘頁
挿圖八葉入
正價金壹圓廿錢
郵稅金八錢

本書輯錄する所の特異なる**兩性相著譚**は過去二千年間の西洋史中より**戀愛ロマンスの粹**を拔ける者、人は大抵一國の主權者又は其配、事は屢、邦家の興亡と相纏綿す、半は是れ歐洲諸王家の內秘史、悉く**情話**なれども悉く**正史**に屬して些の虛構なく、觀察は高潔、文章は雅健淸新、如何なる家庭に讀るゝも**敎訓**ありて**挑發**なし、或は東西人種性の相異を顯著ならしむる**兩性關係**、アベラールとエロイズとの**慘絕なる悲戀**、アントニーとクレオパトラとの**徹底的耽溺**、瑞典の女丈夫王が殘忍なる復讐、政治家的なるエリザベスの戀、多情なるメリー・スチュアートの悲劇、或は我**曲亭が意匠**をも凌ぐ烈女コルデーの義擧に殉せしルックスが戀、或はショーが名作**「運命の人」**を壓倒する情婦に對するナポレオンが**苦肉の魂膽**、洵に**事實の小說よりも奇なるを見よ**!!!

トルストイ作 相馬御風譯
アンナ・カレニナ
●全二冊 正價參圓 郵稅十六錢

ゴーリキー作 吉江孤雁譯
三人
●全一冊正價壹圓四十錢郵稅十二錢

ゾラ作 中島孤島譯
生の悅び
●全一冊正價壹圓四十錢 郵稅十二錢

イブセン作 島村抱月譯
人形の家
海の夫人
●各冊 正價九十錢 郵稅各八錢

發行所 東京牛込早稻田 振替東京一一二三 **早稻田大學出版部**

（賣捌） 神田東京堂 日本橋至誠堂 京橋北隆館 京橋東海堂 大阪盛文館 名古屋星野 （其他）

最新發行 **圖書目錄無代進呈** 送料四錢

假名書きの妙手にして多年書道を教授せられつゝある

村田素堂先生編書

◎名筆となるには『以呂波』のいの字より初めよ!!

かなのてほどき　全一冊

かなのかきぶり　全一冊

各定價金拾八錢　送料金四錢　美濃判紙半截形木版印刷製本大和綴

かなの手引　全一冊

かなの栞　全一冊

いろは帖　全一冊

各定價金拾八錢　送料金四錢　袖珍細長形折手本奉書和紙装釘高雅

昔し一枚の木葉を十年間寫直して大畫伯と呼ばれし人あり、書道に熟達せんと欲せば須くいの字より初めざるべからず。

前記かなの手ほどきは特に初學の人のために平假名の書式より、運筆を一々圖解し、更に變體に附するに厚字を以てし、五種の假名連名體より日常必須の手紙の書き方、封筒、はがき送り狀受取證等に至るまで、實地に應用の出來得る寶典なり。

かなのかきぶりは卷頭先づ色紙に和歌を書して、かな應用の模範を示し平假名、變體連綿體と順を追て運用の變化を說き更に朗詠古歌の粹を蒐めて、筆勢の妙奥を現はしたる眞に絶好の習得書也。而して後者三書は何れも輕快なる袖珍折手本にして、直に其思ふ諸體假名文字を、自由自在に應用され、又寸閑寸時を利用習得するに最も好適せる袖珍習字帖なり

東京市神田區表神保町二番地　**精文館書店**　振替口座東京四〇三五番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

紳士はまた
其容儀を正すのみならず
ヒゲソリの前後に
ホーカー液を用ふ
之れは剃り心地をよくし剃刀マケせず
皮膚を荒らさず、黴菌を防ぐが故なり

本舗 東京和泉橋
堀越嘉太郎商店

婦人自動車運轉手養成

婦人の運轉手は外國には珍らしくありませんが日本にはまた職業的のものは澤山はありません本會は專門學者の講述された敎授本を頒布して完全な技術者を速成的に養成します、此道は各國を通じて最も收入の多い最新文明の職であります善は急げ大正五年春の野邊路に把手を右に左にするのはどんなでありましよう御希望の方は至急御問ひ合せ下さい男子の方も採用致します

東京市京橋區南紺屋町二十四番地

發動機協會

電話京橋三二七七番

不思議によくきくたむやけの妙薬

たむやけ根切薬

定價 廿錢 十錢 五錢

◎各藥店にあります
猿馬印に御注意あれ

本舖 東京上槇町 支那安東縣 安川晃榮堂

東洋生命保險株式會社

東京日本橋區本町一丁目十一番地

電話本局（四五一〇番 四五一一番）（四五二二番 四五一三番）

振替貯金口座 東京 一七九一番

（支店）京城 大阪 仙臺

（出張所）京都 廣島 名古屋 金澤 九州 臺灣

理想的改良香油

本品は時代の要求により生れたる最善なる香油です

花つばき

壹瓶 四拾錢

三個箱入 壹圓二十錢

花つばき

本品に優る香油は現代に於て未だ會見せしことなし

東京出雲町新橋角　**福原資生堂**　電話新橋三二四番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

建仁寺管長　竹田默雷老師著

禪機

不言言の妙諦言ひ得て盡さゞるなく不說說の眞源說き得て至らざるなしその舌鋒銳利互に人間の皮肉を刺し肺腑を刳る正にこれ眞禪機の暴露

四六判
定價一圓
郵稅八錢

高橋竹迷先生新著

隱元・木庵・卽非

（口繪、三禪師自讚畫像）

著者今流麗なる筆を呵して夙に黃檗三筆の稱ある隱木卽三禪師の哀怨なる生涯穎脫なる言行昔壽風流の三昧を描寫し以て明朝滅亡史を背景として江戸時代佛敎の活舞臺に躍り出でたる黃檗禪の眞面目を傳ふ蓋し禪界最初の著作たり

四六判
定價一圓
郵稅八錢

東京小石川區原町
振東京一五八六六
丙午出版社

東京小石川原町
振東京一三五三
鷄聲堂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

本品は畏くも
皇后陛下を初め奉り
有栖川宮兩妃殿下
伏見宮妃殿下
閑院宮妃殿下
東伏見宮妃殿下
華頂宮妃殿下
久邇宮兩妃殿下
竹田宮妃殿下
梨本宮妃殿下
朝香宮妃殿下
東久邇宮妃殿下
北白川宮妃殿下
山階宮妃殿下
賀陽宮妃殿下
以上各宮妃殿下畢つて御嘉納の榮を賜はりたり謹んで茲に感謝の意を表し奉り併而本品愛用者各位に此光榮を頒つ

御後援
二條公爵閣下
土方伯爵閣下
大原伯爵閣下

鍋島侯爵令夫人御詠贈
外國の人もきそひてためすらむ
ならぶものなきこの化粧水
榮子

光榮無上

ミルド化粧液

ミルドは
普通の品と違つて博士や學士が澤山集まつて研究創製した學理的の新化粧料ですから之を用ふれば顏の色を白くしキメを善くしてアレや日焦を防ぎ見違ふばかり美化する偉力を具へて居ます、されば今東京に於ては畏くも高貴の御方々を初め奉り各貴族の御家庭に於いて盛んに御賞用遊ばされつゝあります

全國到る所の化粧品賣藥小間物店に販賣せり若し品切れなれば直接注文あれ

東京 ミルド商會

責任證明
小久保醫學博士
臼杵醫學博士

合議創製
安齊醫學士
瀧原醫學士
吉田醫學士
神谷藥學士
望月藥學士

宮家御用

特製ライラック水

先づ本品を用ひて肌を整へます、白粉下、湯上り、白粉溶水として此位便利な品は御座いません特製品を御求め下さい

ハイジエニッククリーム

其上へ本品の極少量を御顔へ御塗り遊す事、本品は白粉下、荒止、として經驗上無類です、クリームの附きたる手を拭き

理容白粉

最後に自慢の理容白粉を御用ひ下さい本品は永年の實驗より生れたる逸品で●●●ノリノビ自在美しき御化粧が出來升

御婚禮御化粧御仕度
懇切に御高嘱に應候
遠藤波津子

特製ライラック水		.70 .50 .30
ハイジエニッククリーム	押出 瓶入	.40 .60 .45
理容白粉	顔用 襟用	.50 .35
固形ぬか	一打入 五打入	.15 .65
マッサージ用クリーム		1.50 85 .50
ガーゼ手拭		.12
美顔術箱		4.50 3.30

三越　白木　松坂屋　松屋　白牡丹　關口　各店に有之

新橋竹川町十二
理容館
電新一五一九　振一四一〇〇

ビスケット
ドロップス

品質優良にして好評嘖々たり

近來當會社製品に模擬したる粗悪品を製賣する奸商あり御注意御排斥を乞ふ

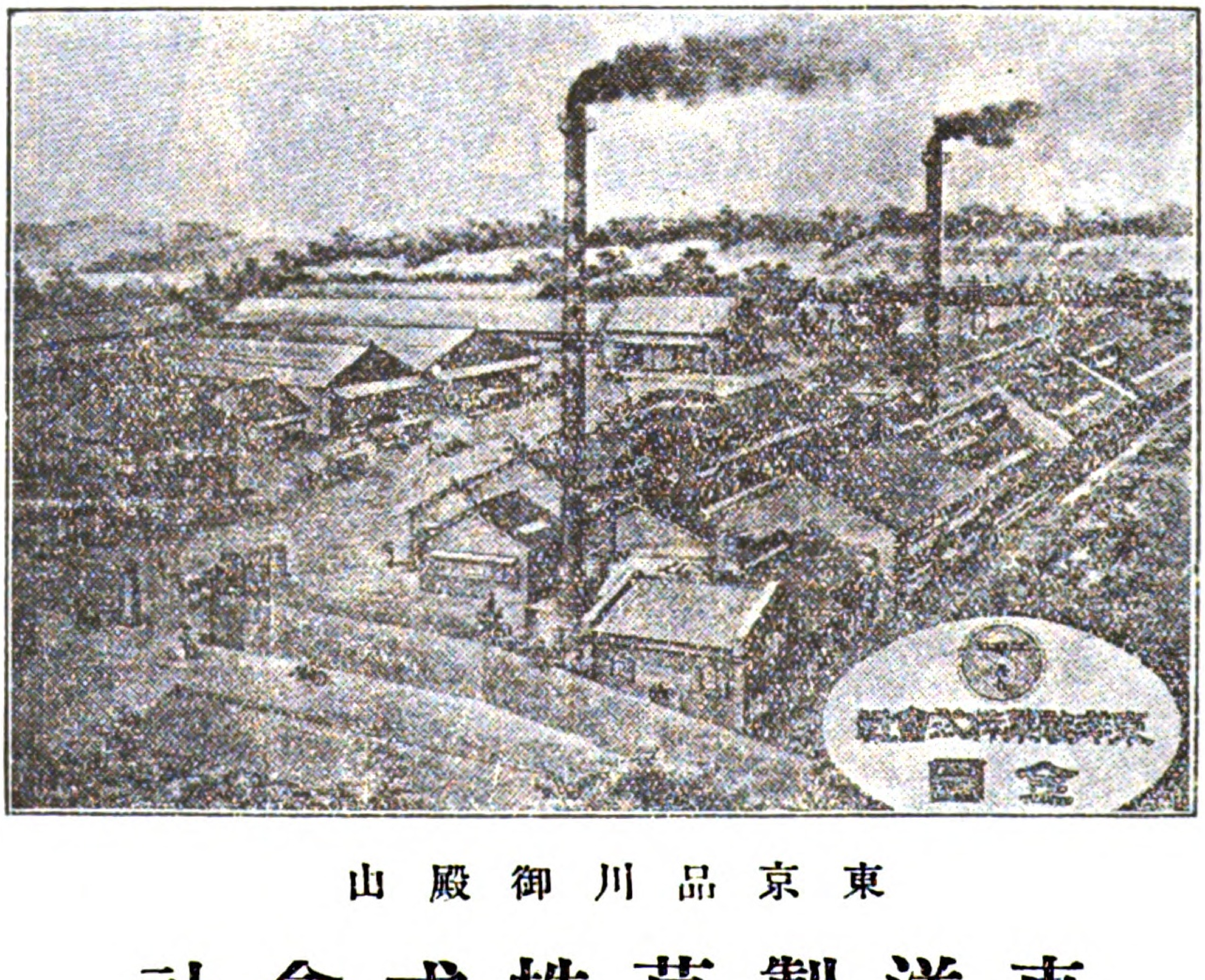
新製品

ピクニック

壹個 金五錢

ピクニックは野外散歩。遠足。運動會等に携帯行糧として至極適當

當社製造品は到る處信用ある菓子舗食料品店に在り



東京品川御殿山

東洋製菓株式會社

電話芝二三三番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

明るくて
長持ちのよい
丈夫で
御徳な
MAZDA
T.E.CO. JAPAN
マツダランプ
五十燭光迄壹個金五十錢
全國の電燈會社并ニ電機店にあります
東京電氣株式會社
神奈川縣川崎町
電話川崎五〇・一〇一、一〇二、一〇三、一〇四、
販賣部
東京出張所
東京市京橋區銀座尾張町一丁目
電話新橋一九三、三三二、長一〇五九
横濱出張所
横濱市伊勢佐木町一丁目
電話一七二一
大阪出張所
大阪市西區阿波堀通一丁目
電話西長一〇九九
東京市内ハ一個でもすぐにお届け致します
此の處から切り取って御送り下さい御説明書を差上げます
御住所
御姓名
新眞婦人廣告

新眞婦人

正月號（第三十三號）

■忘れられない少女

スケッチの一

本郷の赤門前で電車に乗り込んだ天使のやうな少女。……詩にみる眼とふくやかな頰と、まるで繪のぬけ出たと云つていゝ少女。……油ぴかりのない、ほんとのつやつやしい、グルグルと結んだ女優巻……私がスケッチブックなとり出したら、ニッコリ笑つた。そして、詩の眼をパッチリ開いた。私は未だに印象が殘つて居る。どうしても忘れられない。（ゆめぼ）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭改良の要點

西川文子

明治十七八年頃には衣食住についての改良と云ふ事が大變流行した相です。其の頃の女學校では多く洋服を着せ、英語を主として敎へた位だと云ひます。尤も直ぐ反動が來て保守主義が跋扈するに至つたが、併し其の頃の改良はたゞ何の事はない西洋の眞似をしたに過ぎませんでした。皮相的な物質上、形而下の改良論であつたのです。私が只今改良と云ひますのは、それとは違ひ形の上よりは精神的な根本的改良に就てゞあります。

人間は十人十種百人百種で、それ〳〵性格が違つてゐる、職業身分が違つてゐる、生活狀態が違つてゐますから、改良と云つても十把一束に、規則ぜめに云ふわけには行きません。たとへば西洋の家庭では月曜日は買物に、火曜日は洗濯に、水曜日は掃除に、金曜は面會にと云ふ風に定めてあるからとて飜譯的にそのまゝを移す事は出來ません。職業によつては日曜日一日しか休みがなければ、一日の日曜が洗濯日にも面會日にも散歩にも買物にも適當なければなりません。

家庭の中心は何と云つても主婦であるから、家庭が面白くないからとて、夫が留守だからだとか、小供が病氣だからだとか、收入が思ふ樣にないから面白く行かないのだと云ふやうに責任を他に歸してはなりません。止むを得ない事情は止むを得ないとして、その中で出來る丈け面白く家族の心持を引立てゝ行くと云ふ事が主婦の心懸としては最も肝要です。さうするには夫の氣風、家風職業身分をよく理解して自分の行動をとつて行かなければなりません。たとへば自分は奇麗

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

好きだから朝早く眞先に奇麗に片づけなければ心持ちが惡いからとて、夫や小供が學校に行くのに早くなければ間に合はないならば何よりもその方の運びをつけるのが肝要です。又家でする仕事がどうしても取散らかる仕事であればさう潔癖に散らかるのを氣にするのは寧ろ我儘と云ふものです。我家では何が一番大切であるかと云ふことを考へて必要な事を先きにしなければなりません。自己の改良したいと云ふ規則にあてはまる爲めに、人の職務を妨げてはなりません。私は小さい時に父の机の左右をよく取片づけてはよく怒られたものです、あれが見えぬこれが見えぬ、無茶苦茶に私のものを片づけてはならぬと云はれても、だつて散らしておくわけには行かぬと云つては口答へしましたが、人の日常生活に必要な事を無視しては片づけたが片づけたになりません。部屋を裝飾する事もよい事ですが無理をしてまでも飾るといふ事はどうかと思ひます。どうしても氣がすまないならば日頃心懸けて飾るのもよろしいが、飾らないからとてそれを氣にしない心持ちがなほ溫かいと思ひます、そんな些細な事でも規則のやうにかうしなければならぬと思ふと夫が喜ばない事までしなければならぬと云ひ張るのは、改良と云ふよりは寧ろ改惡だと云つてもよろしい。

右は夫人についてのみ云つたのであるが、いくら夫人が面白くしやう、心持ちよい家庭生活がしたいと思つても、夫にその心懸けがなくて、用事以外職務以外にも無暗に遊び歩いて、家庭の時間を勞費する樣では自然面白くなくなります。夫も出來る丈け家庭の時間と云ふものをこしらへて夫人や子供と共に樂しむとか小供の成績を見てやるとか敎へるとか云ふ風にあつて欲しいと思ひます。尙一面にはさう云ふと何に決して厭制なんかしないと云はれますがどうしても男子は婦人の意志を充分尊重すると云ふ風がありません、その爲めに日本の家庭夫人は悄然として元氣がないのだらうと思はれます。私は一昨年の新年號にも夫婦論を書いて其の中に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「世の凡ての夫たる人々に妻に意見の獨立を許す程に雅量があつて欲しい。聞く所によると露西亞の教育ある男女の間では、夫婦の間に於ても討論が許され、夫婦で意見の一致しないことがあつても、夫は決して妻を壓制しないと云ふことである。夫にそれほどの雅量のあると云ふことがどれ丈け妻をして活々した婦人となさしめるか知れませぬ。夫人も夫にそれほどの雅量を望むにはそれ丈け信任される實をあげなくてはならぬ。それには疑はるゝ餘地のないやうに確かりするとと、夫の友人として天晴れであると思はるゝ實力が肝要である。佛蘭西には七百七十二萬八千八百五十四人の既婚婦人があつて、其の中二百六十八萬五千七百九十六人の婦人は、妻たり母たると同時に何にか他に職業を持つて居るとのことである。中には夫よりも餘計に收入のあるものも隨分あると云ふことである。それでゐて夫たる人は何の不便不都合も感ぜず、却つて婦人がかく社會的に働いてゐると云ふ事が一般男子を刺激してゐると云ふ事である。なほ佛蘭西婦人は政治上にも非常の勢力があつて佛蘭西ほど男子が婦人の感化をうけてゐる國はないと云ふ事である。」

とこんな事を書いておきましたが、私が日本の家庭で切に改良したいと思ひます事は、夫の身分職業に應じもつと夫人も社交的になつたり、學者の夫人であれば妻君も何か研究をすると云ふ風に、無駄のない生活を送り向上進歩する事に心懸けたいと云ふ事です。元來消極的に消極的にと敎へられた日本婦人は儉約でつゝましいのみを美德と賞められて來たので、夫の見識學問身分と不釣合に只管儉約のみを事として、却つて夫に不快なる感を與へる事がまゝあります、昔不釣合は不緣のもとと云つたのは只財產身分のみを云つたのであるが、人柄の不釣合ほど互に不愉快に思はせるものはありません。同じ辯護士の婦人で一方は派手な〳〵夫人と一方はじみな〳〵夫人とありますが、じみに家庭や小供の守りをよくしてゐる夫人は家庭の爲めにはいゝでしやうがその夫は却つて喜ばれないで、一方の派手な名聲ある夫人を羨やんでゐられます。從來夫は表面に立つて名を出すもの、夫人はかくれたるが美德と思はれてゐたのは極端で、夫人も夫君と同じ樣に表面に現はれ名を出して社會事業や何かをしても決して惡い事ではないと信じます。先頃來朝された米國婦人記者シャルコフ夫人の如き非常なる金滿家を夫としながら、なほ記者として夫人は獨立し夫君以上の權威あり名望あり活動してゐらるゝのだと云ふ事です。私は日本にもそんな夫人が一人や二人あつてもよいと思ひ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ます。働くと云ふ事は、夫の爲めや小供の爲めではなく全く自己の爲めなのですから、家庭婦人も働くと云ふ事を考へなければなりません、一言に働くと云つてもいろ〳〵あつて、夫の職業によつては盛に社交をし華ばなしく遊ぶのが働きになる場合もありましやう。その反對に內職をする必要のある場合にはさうするのも働くのであります。

夫婦は互に理解と同情とを持たなければありません夫が一人齷齪して働いてゐるのに、妻君は仕事はなしさうかと云つて遊ぶほどの餘裕はなしと不平たら〳〵で火鉢の番をしてゐるのがありますが、私はそんな夫人は恐らく夫を愛してゐるのではなからうと思ひます。いくら結婚したからとて生活の責任は全部夫に負はせて、妻君は二人位の臺所をすれば事が足つてゐると思ふのは、あまり同情がなさ過ぎます、時と場合によつては婦人も大に働かなくてはなりません。否寧ろ一歩をすゝめて云へば何の必要なき夫人も夫が終日職務の爲めに盡さるゝのを思へば何がしか世に貢獻すべき筈だと思ひます。それが又夫と權衡を取つて向上して行く所以なのですから。英國などでは財産に餘裕ある紳士が牛でも馬でも其他草花でも、道樂的に趣味の上から多く集めて、改良〳〵と改善されるので種類がよくなつて行くのだと云ふ事を聞きます。全く生活に餘裕なきものに取つては充分なる改良はしたくも望まれませんから、時と金とのある貴婦人にこそ直接自身には必要なき迄も衣服食物凡ての改良を計つて頂かなければならぬと思ひます。私は世の夫人達に形の上でも、質の上でも時間からでも勞力からでも有形無形何なりと積極的心持ちで一日、一日、今日は昨日より、明日は又今日よりと改良進步に心懸けて欲しいと希望します。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭の組織的研究

東京音樂學校長　湯原元一

經濟的方面及道德的方面より

孔子も「修身、齊家、治國、平天下」と云つてある通り、古來家庭に就ては、隨分と議論されて來たものである。併し凡てが「家庭の人々の道德的關係」に就て論じたものに過ぎなかつた。單に此の道德の方面から見ても、道德は一體其の一部分は時代と共に變せねばならぬものである、殊に家庭の道德の中には時代と共に變せねばならぬものが多い、支那の數千年前の道德を今日の家庭に、そつくり其の儘應用することは出來ぬ。既に事實上變じつゝあるがどう變ずれば最も善いかは大なる研究問題である。

今日では又、單に道德上から見る外に、家庭を經濟的方面から研究せねばならぬ。就ては主婦に對して、從來の樣に節儉をせよと云ふ丈けでは面白くない。近頃我國にも家庭博覽會の開催の如きがあつて、家庭の改良に就て具體的方案を示されたのは、甚だ悅こばしいことである。家庭の經濟は社會の經濟より引き離して考へることは出來ない。一口に貯金と云つても郵便貯金もあれば、銀行貯金もあり、銀行貯金の中にも、當座もあれば特別當座もあり、其外、株だの、公債だのに就ても、之れからの主婦は相當の知識がなくてはならぬ。買物をするにしても、たゞ直切るのでは何んにもならぬ、市場の形勢まで知つて居てゞなくてはならぬ。ソレから又、之れからは都會に於ては、いよいよ多くの人々は借家住をせねばならぬ、就ては主婦たる人々に、借家人と家主との關係に就ての諸種の知識があらねばならぬ、今日の有樣を云へば家主と借家人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

との關係は隨分無茶苦茶で、借家人の所謂借家人根性も甚だ面白くないが、家主が健康、火災、盜難などに就て考へてないのも亦甚だ不都合である、今日は火事の時に逃げ場のない樣な貸家が多い。主婦たる人々はコウ云ふ知識をも得て、コウ云ふ方面からの家庭改良をも計らねばならぬ。

婦人の教育

斯く考へて來ると、一家の主婦たる人々の有せねばならぬ知識が頗ぶる廣くなければならぬことになる。されば日本の女學校が揃ひも揃うて良妻賢母の養成を其の主義として居る以上、此等の學校の學科は要するに家政科を主腦とせなければならぬのである。然かるに今日の實際は、家政科は高等女學校の學科の中尻から三番目位の所にあつて、僅かの時間で料理の仕樣、通帳、日記帳のつけ方位を敎へるに過ぎない。之れは甚しい矛盾である、高等女學校の學科は凡て家政學でなければならぬ。

家庭を組織的に研究して得たる知識を、若かき婦人に敎へ、主婦として必要なる凡ての知識を持て居る婦人が増加すれば、家庭は自然に改善されると思ふ。而して家庭の改善位、國民の生活を健全にする上に、大切な關係のあるものはないのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本婦人の個性なき所以

高島平三郎

西洋婦人に比べて見て、今の所日本婦人にはハッきりした個性はない樣に感せらるゝと云ふのですか、ソウです、ソレは今まで個性の必要がなかつたからでしよう。

一體社會の進歩せざる以前にありては、團體で凡ての仕事をしたもので、個人は其の隷屬せる團體の道具に過ぎなかつたものである。斯かる間は、何人にも個性の必要がなかつたのである。社會がやゝ進歩した後に於ても、表面に立て仕事をして行くもの丈けは、個性を現はすことが出來たが、婦人の如きは尙ほ夫の言にも、團體の言にも從はねばならなかつた。安全に生活を保護さゝる代り、少しでも個性を現はすことが出來ぬのみか、必要もなかつたのである。

けれども社會の進歩と共に、婦人の境遇にも變化が及び、日本婦人の中にも自活せねばならぬものが增えて來たから、之れからは個性のハッキリした婦人が增えて來ることであらう。今日尙はボンヤリした婦人の多いのは、卽ち男子によつて其の生活を保護されて居る婦人が多いからである。今日でも自分で商賣して居る樣な婦人は、ボンヤリはして居らぬ。夫れ故に、自活せねばならぬ婦人が增えて、男女の經濟關係に變化が起らぬ以上、たゞ敎育や講演の力のみで、婦人の個性を發達さすことは出來ない。

私の斯う云ふのは根本的に云ふのであつて、斯く云へばとて私は根本論のみを振り舞はすものではない。個性に就ての敎育も必要であり、男子の方より發動的に婦人の人格を認めることも大切であり、又社會政策として、醜業婦の公認を禁止するとか、婦人を家畜の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

如く取扱ふものを見れば制裁を加へるとか、人爲的の制裁で婦人の自覺を促すとかと云ふことも必要であると考へる。けれども此等はドコまでも第二次的で、第一次的に云へば生活の關係から出來て來るものと云はざるを得ぬ。

ソレで日本婦人の個性と云ふことも、其の發達を望むには時期を俟つより外に道がない。今日の所では男子が婦人を養ふのが普通であつて、偶には獨立の財産ある婦人もあれど、異例に過ぎない。他人の力で生存を維持して居る以上は、カントの所謂『人間はソレ自からが目的で、人の手段となるものでない』と云ふ意味の人格は發展するものでない。

今日日本婦人の多くに、尙ほハッキリした個性の見えぬのは尙ほ斯かる境遇の下にあるからで、性の上から見て、婦人が劣れる爲めでなく、境遇が然からしめて居るのである。境遇變れば日本婦人の個性が發達し個性の發達と共に、眞に新しい意味の家庭が日本にも出來、今日過渡時代にある、變な家庭は何れも改善せらるゝことであらう。

新刊紹介

▲聖書日々實行（小林富次郎氏遺文、中尾清太郎氏編） ライオン本舗の前代小林富次郎氏は、よく聖書を讀まれた方と、かれて聞いて居たが、斯書は彼が須叟も手を離さず、世界をもつて運はつた小さい聖書の書入から、中尾氏が彼の感想、批評、提醒等を拾ひ蒐めて、之れに聖句を引照し、一年三百六十五日に割り當て編輯したものである。流石に小林翁が多年聖書を身讀しての言丈けありて、私共を警醒するの語が多い（定價一圓、東京銀座四の四　銀座書房）

▲美人禪（笛岡清泉氏著） 身を禪海に投ぜし、有名なる婦人三十人の言行を蒐めしもの、此等男々しき婦人の言行を、今日の心弱き婦人方に讀ませたきものである。（定價一圓、東京小石川原町六　丙午出版社）

▲銀と藍（日向きむ氏著） 著稿を蒐め、卷頭に眞生活てふ新に草した一文を加へて、出版したものである。（定價八十五錢、東京麴町區麴町三丁目丁未出版社）

▲女の赤裸々（磐翠樓主人） 低級なものではあるが、人の好奇心をソヽるように出來て居る。著者は女を知りぬいてゐる人であるらしい。（定價五十錢　東京京橋元數寄屋町三丁目一番地旭堂）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

はるのうた

唐澤純正

物みな新らしく生くる日なり初春の、
陽(ひ)はのどに照れりしづに輝やむ。

軒端の雀よ喜びにたへかれて、
この初春を翼はたたきてほぐか。

障子に映ろひ行く陽(ひ)あし此日ことに遅く、
ちちと雀のささなき居れり。

裏庭に子等のつどひて何やらむ、
云ひ爭ふも春なればのどけし。

匂ほやかにほほゑみ給ふおん顔に、
春の夜靜か灯(ひ)かげ映(は)えつつ。

きらびかに着(き)かざれる少女(をとめ)らの、
袖がへしつつ羽子つきてあり。

子等つどひ歌がるたとらんとささめきつ、
火桶の灰の白みゆくまで。

梅一輪咲くにも大いなるあめつちは、
くるしめりかくて春は芽ぐみつ。

とはにあれ此のほほゑめる初春の、
乙女等の顔乙女等の心。

おのがじし春の光に浴しつつ、
靜に生(せい)の芽つちかへるかも。

行き〳〵て我今ここに二十九の、
初春風におふぞうれしき。

來(こ)よ我に親しきものようとき者よ、
春のひと日をかたみに遊ばむ。

南向ける片山かげに足延べて、
春の陽(ひ)あびなばのどけからまし。

空よ廣これ地よおほいなれ春の陽(ひ)に、
靜かにめぐれのどにのどかに。

六尺の障子にチラと鳥かげの、
流れしを見てほほゑむ男あり。

鳥よ鳴け草よ芽ばえあめつちは、
なが爲め春の風送り來つ。

さらば我ゆかんとさほ姫の、
にほやかに立ち舞ふ姿けやけし。

春の陽(ひ)はかくて生(あ)れましぬ物みなに、
此のさいはひを頌たんとこそ。

黒き土ふつふつと沸きてささやかに、
草の芽生(あ)れぬ靜かなる日に。

もろともに祝へ又來ぬ今日の日を、
乙女等ことに祝へ今日の日。

（一九一五、一二、一二）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

淘宮によりて婦人の性癖矯正されたる爲め家庭圓滿となりし實話

革新淘宮術會長　竹内師水

御尋ねに從ひ、淘宮によりて婦人の性癖が矯正されたる爲め家庭圓滿となりし實話を二三申上げましよう

伊藤のぶ子氏の事

此の婦人は年齢四十二三で、會社員の夫人です。漢學の素養があつて、遊藝の道にも明るく、器用で、世話好きで、智慧があつて、勝氣な婦人です。夫は寡默な人である。

從來は此の婦人は勝氣な所から、夫が何にを云つても、ハイとは云ふことが出來ないで、ソレはさうですけれどと云ふのが常であつた。婦人は之れを惡いとも何んとも氣付かずに居たのであるが、茲に此の家庭の病はあつたのである。

所が此の婦人はフトしたことから私の淘宮傳習録を讀み始め、病氣で箱根へ湯治に行つて居た際の如きは初めから終まで三度も之れを精讀されたとのことである。ソレが手引で遂に私の門へ入ることになり、「ハイ」と云へないのが惡いと云ふことに氣が付いた。

ソレから此の婦人は考へた。一體女の一生の苦樂は夫により、夫が偉くならねば女は偉くなり樣がないのであるから、何んでも毎日夫を世に立てることに全力を注がねばならぬ、ソレには先づ毎朝夫を機嫌よく送り出し、夕方、機嫌よく迎へねばならぬと考へた。朝機嫌よく出て行けば、其の日の仕事が甘く行くのは、申すまでもない。

或朝或裁判官は妻君と喧嘩して出かけて行つたが、其日此の裁判官は甚く被告を叱り飛ばしたと云ふことである。又或病院長は朝出がけに妻君と喧嘩をした

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日、診察を過りて。大變な間違をしたとのことである。世間に斯様な話が澤山あるのを見ても、妻君たる人が此の邊の事に氣を付けると付けぬが、夫の仕事の上に大影響のあることが知れる。

さて此の婦人が玆に氣が付いて、毎朝機嫌よく夫を送り出して居ると、果して夫の仕事が成績よく、從て夫の機嫌もダン〳〵よくなつて來た。

先日私宅に集會のあつた節、此の婦人は

けれども私はまだ夫に負けたのだとは、云ひかねる、私が自から私の惡癖に勝つたのだと云つて居る

弱い氣質を強くするにも勇氣が入るでしようが、強い氣質を弱くするにも一通りならぬ勇氣が入る。私は今回、此の事をシミ〳〵味ひましたと語られた。

勝氣な、負けることを知らぬ御婦人方に、此の婦人の實驗を、能く〳〵味はれんことを熱望する。

一未亡人の懺悔談

此の婦人の夫は、法學士で有福な人でしたが日露戰爭の時に一年志願兵で出て、不幸にも戰死したのである。

此の婦人は至て陰氣な人ですが、夫は生存中何時も云はれたソウです。『私は何にも望む所はないが、唯一つお前が陰氣なの丈けは困る。どうかセメて朝、私の出かける時丈けなりと少し陽氣に送り出して呉れ』と。此の婦人は夫の生存中一度も夫の此の望みを叶へることの出來なかつたのが、如何にも殘念であると何時も云つて居らるゝ。

淘祖の御歌に

不機嫌な人の機嫌をとるよりも
先づ我身より機嫌よくせよ

とあるが、御婦人方が此の歌の實行が出來ると、家庭必らず圓滿と成る。

河野智與子氏の事

此の婦人は英語も出來、刺繍も出來る偉い方ですが餘りに勝氣な爲めに、大變悲慘な境遇に落つるに至つ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た。
夫は貿易商ですが、夫が放蕩を始めたのが、事の始りで、家庭が絶えずゴタ〳〵、勝氣な夫人は遂に夫に向て別居を請求し、三人の小供は夫の叔母に托して置いて別居して仕舞つた。而して夫の方から折れて來てどうか歸つて呉れと云つて來ても、何時もポン〳〵はねつけて取合はなんだ。

けれども其後夫人は小供の事が氣になりて、歸りたいと思ひ出して來た。所が夫の心は反對に動いて、前には屢々歸つて貰ひたいと云つたものが、其後はソウ思はなくなり、歐洲戰亂で貿易が不振となり、二人の婦人を養ふことが出來なくなると、夫人の方を追出すと云ひ出した。夫人の方では小供の爲めに何事をも忍ばんと決心し、今後はドンナ辛棒でもするからと、人を以て詫を入れたが、お前は以前離縁を請求したことがあると云つて承知しない、女は氣違の樣になつた。

併し此の頃、放蕩の結果十三年間も妻と別居して居た或工學士が、フトしたことから私の書いた淘宮傳習録を讀み、其の中に自分と同じ樣な人が淘宮で救はれた實例に出會し、バッタリ放蕩を止めて、夫人と同棲するに至つた話を聞き、ソレが手引になつて、私の門へ入つて來た。初めて來た時には母と一緒に來たが、時々倒れる程に衰弱して居た。けれども淘宮を學びて『今まで自分の氣質を振り廻はして居たから惡いのである。自分がホントに善くなれば、キット又一緒になれる』と考ふるに至り、ヤ、氣が樂になつて來た。

恰かも此の時婦人の弟は米國から歸つて來た。此の人は獸醫である。かねて姉の事を手紙で知り、心配して居たのであるが、横濱の埠頭で面會した時、姉が思つて居た程でないのに一と先づ安心した。修行の効がソレ程見えて居たのである。弟は姉に代りて談判の任に當り、離縁は致し方がないとして、せめて小供は一人丈けなりと、コチラへ貰ひたいと懇願したが、夫の方では今では憎くて仕方ないのであるから、一人もやらぬと云ふ。弟は決断の早い男であるから。今奇麗に切つて置く方が他日の爲めによからうと考へ、姉に相

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

談せずに、小供を一人も貰はずに離縁を承諾して了つた。此の時にも弟は姉に話すとドンナに心配するだらうかと思つたが、思つた程には失望しなかつた。之れも自分が惡い爲めと直ちに思ひ直した。コヽにも修行の効が見えて居る。

ソレでも尚ほ當分は、毎夜目がさめると、一時間位づヽ必らず一度は泣いたが、修行の結果、今では曩に同棲中、天は屢々子供を奪つて、私に警告して呉れしも、私は悟らなんだ。今度離縁になつて三人の小供と同居することの出來ないのも、皆な之れ天の警告である。此の上は小供の事は天に委せ、自分は修業しましよう。

と悟り、全く小供の事を思出さなくなつて、英語と刺繍の教授をしたから、修行に勵むと共に、世には私の樣な不幸な婦人が幾人あるか知れないから、一人でも其の樣な婦人を淘宮に手引したいと、努めて居る。

此の婦人の亡父は淘宮家であつたのであるから私は此の婦人に、父の後を繼ぎて淘宮家に成れとスヽメて居る樣な次第です。

ドンナ人とも調和が出來る

モウ大分前のことですが、一日吉川先生の夜會へ參ると、今しも四十五六の紳士が談話をしかけて居る所であつた。

私は一工場主で、職工を四十人ばかり使ひ食ふには困らぬものですが、不幸にして三人の小供を遺して妻に死なれ、非常に難儀をした。私は朝早くから夜遲くまで工場へ行て居らねばならぬし、家には老母と小供ですから、困りぬいて後妻を幾人となく迎へたが、長くて半年、短かくは一ケ月で、歸つて了ふ。私や小供との折合が惡くてヽはないが、どうしても老母と折合はぬので歸つて了ふのである。今はモウ後妻に縁がないものとアキラメて居た。所が私がやつて見ましようと進んで來た婦人がある。ソレが今の妻である。不思議なことには老母が第一に此の婦人が氣に入り、モウ此の人に歸へられてはと大

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

事にしました。私は餘りの不思議さに、妻に色々尋ねて、妻は吉川先生の門で、淘宮を學びし女と知つた、ソレから淘宮が有難くなつて、今晩始めて入門した樣な次第です。

と、有難涙を流して物語つた。其の婦人の名は忘れたが、顔は二三度見た。此の話の樣に、ホントに修行の出來てる人ならば、誰れとでも調和が出來るのである

構はずに喰ひつくものか、他所の犬

御婦人方が修行に勵めば、ドンナ面倒な御家庭でもキット圓滿に治まつて行く。

お早ようが云へぬ學者

控訴院の判事たりし人で、獨乙學者で、禪にも詳しい人がある。此の人は至て無口で又氣六つかしやである。妻君は多年何せ夫はコウ六つかしいのかと困り、絶えず不平も云つて居たが、淘宮へ入つてから、自分も惡いと氣が付いた。スルト妙なもので旦那の方でも、己れも惡いと氣が付いて、旦那も私の所へ入門して來た。私は此の學者に向て『貴君は無口なのが第一に不可けない、明朝からお早ようと妻君に毎朝云ふことにしなさい』と敎へた。此の人は毎朝云はんとすれど云へない、私は度々勵ました。遂に或朝思ひ切つて『お早よう』と百雷の一時に落下した樣な聲を出して妻君を驚かせた。ソレ以來はお早ようが樂々出る樣になり無口な人がポツ／＼隣人にも口をきく樣になつて來た

此の話の樣に、御婦人方が、少しく氣が付けば、ドンナ六つかしい夫でも感化することが出來るのである。

竹内先生のお話はまだあるのですが、餘り長くなりますから、後は次號に致します。（記者）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小供の育て方

西村卜堂

遺傳のよしあしによつて、小供の前途に幸と不幸の差を生ずることは申すまでもないが、此は父母の責任でありますから玆には述べませぬが、生れた子供の養育法は、先天遺傳の缺陷を補ふ上に於て大事な研究でありますから、父母たるものは思を玆に致さねばなりませぬ。

生理的方面の育兒法は、今日までに研究が行き屆いて居りますが、心理的の方面から見ると一向無頓着な傾向が見えますから、此の點に就いて述べて見たいと思ふ。小供が言語を解する樣になりますと、玆に初めて意志なるものが芽を出しかけることになるのです。そこで柔和な子供もあれば、元氣な小供もあり、臆病なものもあれば、亂暴なものもあると云ふ樣な區別が生じて來る。總體小供の知識づく時分には、破壞力の強いもので、何んでも壞して見たがる、此が自然に研究心の萌芽となるのであります。此の破壞力の大なる小供と、小なる小供とが知識の進歩、意志の强弱等の比例を生ずることは實際上爭ふことの出來ぬ事實であります。破壞力の小なるものは、形體も又貧弱なるものが多く、知力も意力もともに進歩が遲々たる傾が見えます。破壞力の大なるものは、形體も健全であるし知力も意力も進歩が早いので、一は漸進的であるし一は急進的であるの差を生じます。

此等の傾向からして、形體を見ましても、小供はまる〳〵と肥つた營養的でなくてはなりませぬ。如何にその覺えがよくても、形體が神經質でヒヨロ〳〵として居ては、發育が六ケ敷ことになります。そこで知力を注入することにのみ重きを措いては形體の方面が

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

留守になるし、形體は健康でも頭の粗大では知力の進歩が乏しいことになるから、父母たるものは、此の調節に深き注意を拂はねばなりませぬ。身體の方面は醫者がある、敎育の方面は學校があると云ふ樣な考で養育、敎育に注意が乏しいと、不幸にして、小供の前途に苦しまねばならぬことになる。上流の家庭は、此の大事な小供の養育時代を他に任ねて顧みない樣な傾が見えますが、不幸にも不良少年少女や、低腦兒などの此の上流の階級に多いのは、慈愛心の注入が乏しき結果であるまいかと思はれる。

食物にしても、小供の體質の如何を見ずして共通的の衞生法で、それこれが滋養物だ、此が消化がよいと云ふ樣に、型に捕へられて個性を論せず、個質を認めず、たゞ金にあかして完全なる結果を見ようとする傾がある。それであるから、其結果はよろしくない、貧乏人の小供は健康であるが、華族や富豪の小供には虛弱なものが多いと云ふことになる。此は一に自然に放任し人意を用ひず、一は人意を加へ過ぎて反つて不自然に流れるによつて生ずる差であります。

小供を育てるには、個質及び個性を尊重して、此の長短過不及を鹽梅することが即ち鎔鑄陶冶の大事なる所以であります。個質とは何にかと申しますと、形體の組織であります、即ち神經質とか、營養質とか、運動質とか稱するもので、知覺神經が鋭敏なれば神經質交感神經が旺盛なれば營養質、運動神經が大であれば運動質と云ふが如き分類であります。此の形體の組織によりまして、頭腦の働きに種々の差が出來ます。それをよく偏らぬ樣に平均さす樣にしませぬと、賢くて弱い小供となり、丈夫でも愚鈍であつたり、剛性で亂暴で始末の付かぬものが出來たりすることになりますそこで神經質的の頭の發育した小供ならば、なるべく頭を使はせぬ樣に工風して、公園などの廣々とした場所へ誘ひ出して、學生の活潑なる運動を見せて、元氣を鼓舞する樣にせねばならぬし、營養質の間食ずきの小供は、動物園や、學校の附近に遊ばせて、知的に頭を働かす樣に誘引せねばならぬ、運動質の剛情我儘な

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

遊び好きの、お山の大將には、調子のよい時に、古英雄の傳記や、偉人の言行を説き聽かせて、お前は大將になれるが、大將になる樣な人は、小供の時から父母の命令をよく尊重するものだと云ふ樣に、理性を以て反省を促す樣にせねばならぬ。剛情だと云つて、打たり叱かつたりばかりすると、自然に抵抗力を强めて益益手に合はぬものになる。不良少年などは多く此の型から出るのであります。

小供の氣質は周圍の注意によりまして、最もよく變化し得るのでありますから、父母たるものは、小供の一擧一動に眼を付けて、惡習慣をつけぬ樣にせねばなりません。今參考の爲めに、頭の發育狀態によつて氣質の傾向をお示しすれば、

一、頭の横廣きものは、我欲心が强いから自分ばかりの滿足を計つて弟妹の分まで一人で占有しようとする。

二、後頭が膨れて隆起して居る樣なものは、親切で同情心に强いから、兄弟姉妹に對し、朋友に對しても、自分のものを分配してやる樣な、やさしい所がある。

三、頭の頂きが高く聳えたものは、剛情で威張りたがつて、お山の大將を氣取り、遊び友達の中でもいつも中心人物で、他を服從せしめようとして、中々硬勢をやる。で自分の氣に入るものには、物を與へて親分を氣取るが、服從せぬものは嫌つて、喧嘩をする言葉も交はさぬと云ふ樣な風になる。此の式は名譽心が强いから、譽められたり持ち上げられたりすると、つい〳〵お金を持ち出したりして、種々なる惡風に染み易いことになる。

四、頭の基底部卽ち耳の周圍の細きものは、柔順であるから元氣がない、故にいつも下馬で、泣かされたり、こき使はれたりして、意氣地がない。時とすると惡友の爲に强制されて、家のものを持ち出したりする樣なことになるから自然に惡感化を受け易い。

五、お凸の額を有するものは、記憶力がよい、さうして中々理窟を云ふ。なんとなく老人じみた氣風がある、故に學校ではいつも成績のよい方になる。併し形體に注意せぬと、頭勝ちで虛弱なものになつて、活動的人物になれぬ。

六、顱頂結節卽ち頭の頂きの樣が印形の如く膨れたものは、臆病である寢るにも一人では心細いから、添寢を要求する、コンな小供には怪談話しなど話してはならぬ、睡眠中に魘はれたりするから自然に弱虫になつて仕舞ふ。

七、耳の上部が膨れて目立つと、亂暴で横着で、虛を云ふから、氣を付ければならぬ。虛が一度でも二度でも通ると益々虛を云ふことに趣味を持つことになる。此は大なる不幸を與へるから、尤も注意すべきである。

八、顳顬の膨れたものは、食ふことの好きなもので、いつも口の中を動かしたがる、胃腸も先天に丈夫であるが、自然に度を失して胃化器を破壞する。そして身體は肥滿しても、神經が鈍くなつて、智力の發達がなくなる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

九、頭の細いものは、餘程健康に注意せぬと、結核とか心臓とか稱する、胸の病や氣管に故障を受け易い。

十、豆頭と云ふ樣な小さな下顎ものは、神經過敏になり易いから、營養に氣を付けて、刺戟をせぬ樣にせねばならぬ。

此の外種別として、注意點を申上げると、一部の冊子を作らねばならぬ程になるから、先づ普通の家庭でお氣の付かれぬ事で、而も容易に、個質や個性を知ることの出來る要點を示したのであります。父たり母たるものが、小供の前途に幸あれかしと祈らぬ方はなからうから、此の短篇で意に滿たぬ點は、直接お話しを致しますから、御來訪を願ふことにいたします。

○

鵠沼　小川秀岳

山のはに松の秋風身に泌みて故郷の里の月ぞ悲しき

海を見て心亂れぬ君を棄て世を棄て寧ろ我は死なんと

終日を机の前に棄て置けどこの片意地の眼が泣ぬかも

春の夜と云へば寐られず花散ると聞けば寐られず淚多き身を

さゞれ石巖となりて苔むして千代ふる物の例とぞなる（御即位式）

夕月夜蟲の音清き淺かやに夜露に光る青葉涼しく

謹賀新年

西川光次郎
西川文子

略儀ながら誌上で新年の御挨拶を申上げます。
皆樣の御淸福を祈る。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

名笛望月

清水玉露

一代の御盛儀御滯りなく終らせたまひし、九重の雲深き御あたりには、師走七日より八日にかけて、善美盡せる慰勞の御賜餐。

やがてそれも果てぬれば、天覽の御能催したまふ。此度新たにしつらへ給ひし御能樂殿の正面には華麗極まれる玉座あり、左右には三段に緋毛氈敷きつめて竹の園生のやんごとなき御方々より内外の高位高官の君達すべて一千三百餘名綺羅星の如く居流れたまふ。

聖き御裝ひは申すも畏し、大禮服輝く中に袿袴のもすそ長き、ローブ。デ。コルテーの姿豊かなるが金茶緞子に御紋章付きたる御下賜の謡本はら〳〵と繰りてたゞつゝましう拜觀する、舞臺は三間四面、木曾御料林の檜作りブラッケット形の二百何千燭の電燈燦然と四方に照りはゆる中を今日を晴れの奉仕の人々魂こめて舞ひ謡ふ、演じ去り舞ひ次ぎて今まさに橋辨慶、シテは金剛右京子方は山口光夫、楚々としてひるがす袂をかいくゞる薙刀は彼れが祖父唯一の名作、一上一下あざやかに日頃練磨の技藝の冴。

折しも嚠喨と響く笛の音!!

主や誰れと打見やれば白襟紋付、かちん色に松竹梅の模樣ある素袍長袴烏帽子つけて打向き勝ちにつとむる其人、三木如月のかくれ名を今日は鹿島清兵衛の本名に召されて、いとおごそかに笛の役。

絶えて久しきめぐり合ひに思ひおこす拾餘年の昔月に花に派手を競ひし其人は我父の朋友なりき、幼少の折豪商鹿島家の養子となりしが妻と定まりし令孃に附添ふ乳母が「此樣な男をお孃樣の夫には?」と嘲笑の言葉のふと我耳に傳はりし意地より、我も男子よ生涯に一人の美女は必らず我自由にして見せんと、天下の名妓新橋のぽん太に心を寄せて遂には我物と手折りし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

より、去らぬだに舊弊頑固の一門の中に新智識深かりし此人の、とかくの誹り煩さかりしがいよ〳〵はげしくなり増りて覆水また盆に返らず、離縁勘當受け終はりぬ名門何物、財產何事、我は意氣地に生くる身ぞと戀しき人をたづさへて、春の宴や秋の遊び、詩歌管絃の催しに鹿島大臺の名をうたはれて風流の交り多かりしが、我亡き父も其中の一人なりしよし

淸兵衞氏が築地の邸に能舞臺作りし折、舞臺開きに招かれて、父は紅葉狩を出し主人の君は小鍛冶を出されぬ、其日招かれて行きし我身の、母より密と注意されて、舞臺見まもりし眼を轉ずれば其處にぽん太は見えたるなり。淸兵衞氏と對の羽織の黑紋付つゝましう綸朱の座布團の上に端然と座せるうら若き其人は絕世の美女、實にや豪家の富も才人の魂もかたむけ盡したる容色さながらあたりまばゆき心地せしが、嗚呼それも一場の夢、榮華はやがて移ろふ花の流れたゝよふ人の身の上。

落魄の淸兵衞氏には慰藉有りき、名妓ぽん太は今も猶貞操なる鹿島夫人として辛苦にも歲月にも變へぬ赤誠をつくしつゝ有り、自からは又趣味多き生れの、昔てはたゞ有りのすさびともてあそびし寫眞の業など今は身を助くる料となり、或時はまた昔學びし謠うたひ或時は習ひ覺えし笛を吹く、それにつけても望月と銘ある名管は彼が常住離さぬ秘藏の品なりき。

望月は森田流の家元森田初太郎が用ひし名笛にして淸兵衞氏の物となりてより朝に夕に吹きならし、澄める音色は御空の雁も止むべく浮世の外の樂しみなりしが、八年前ふとせし災ひより寫眞の藥に火傷して主人の負傷せし時、代へ難き治療のしろにとて淚と共に寶拂ひ愛玩の主の手許を離れしもの、廻り廻りて不思儀や弟子の古山氏の手に入りぬ。

今や寶生九郎翁が盡力により、一世の譽れ一代の榮え、御前間近く笛吹く事となりしよりなつかしき其名管を借り受けて、身も心もたゞ一筋に今日を晴れとつとむる心、思ひやれば淚さしぐまるゝ心地して昔を忍び今を思ひ拙き筆もてかくはつゞりぬ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

容貌よりは精神

江木欣々

此間大阪の大宴會に於て某實業家の八千代評を或る新聞で見ました。其評に富田屋の八千代はいつまでも美しいものだが容色の美には限りがある、彼は一體其の終りをどう結ぶ覺悟であるだらう、本人は其邊のことを考へてゐるか、ゐないか知らんが彼れ一身のみならず、慥かに風月場裏の謎である、八千代が會衆注視の的となりて、喧ましく囃やされてゐる、全盛の容を見るにつけ、言ひしれぬ悲哀に胸を鎖さるる云々と誠に御同情のある御話です。

しかし久しく浪華の花として、八千代の艶名は既に十數年謳はれてをるのは、只單に容貌の美のみではなくて必ずや精神の美を發揮した所があるだらうと想像致します、聞く所に由れば八千代は花柳界には珍らしい愼み深い性質で且心掛が非常によいさうで、忙しい間にも中年から畫などを習うて、席畫ぐらゐのものはかける樣になりましたさうです、過日も新聞紙上で其筆蹟を見ましたが、誠に感心な次第であります、今日の如き時世に藝妓として而かも畫道に志すと云ふ事などは、實に花柳界の品位を高めると云つてもよいのです、支那の校書には昔から詩文書畫を能くする者も鮮なくないさうで、現時にても詩文書畫を以て御客に應答し、席上で鬪句や連句を致しますさうです、一例をあぐれば、客が麒麟閣と申せば、直ちに聲に應じて鴛鴦湖と答へる、又客が風淸月白と申せば、卽ち柳綠花紅と答へるといふようなことで、中々學才に富んだ者がありまして其見識に於ても亦侮り難く、日本から漫遊に行きました學者連も其敏捷なる應接振りには往々舌を捲きて歸へられますとの話を度々耳に致します。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ソコで八千代もどうかさういふ風に文雅の道にも志して、追々向上發達させたいものであります。想ふに容貌の年と共に衰へるのと、藝術と心の修養とは反比例に年と共に進むものですから、八千代が苟も畫道にも志あり、又其得意とする所の唄や踊りを層一層の研究を重ね、斯界のオーソリチーとして、其品格を保たしめ、一生を終るほうが、或は氣樂かもしれませむ、ソレニあれだけの評判を取りたものですから、縦令ひ素人として嫁してゆくにも、急に善き配合は得難たからうと想はれます、八千代の妙藝と品格とに就きて、フト此の如き感想が浮びました。

又東京にもこんな話があります、新橋の福松屋のすま子と云ふ老妓は現時第一流の藝妓ださうですが、容貌は始より意とせずに殊に片足が少し不自由なので、只藝術のみに意を用ゐまして、就中長唄の三味線が上手ださうです、ソレデ宴席などにすま子が列しますれば固より、一寸顔が見えましただけでも、何となく其場が引締りてくるさうで、ソレに一たび三味線を取りて彈きますると、其の琅々たる絃聲は妙技神に入り滿場さながら水を打ちたる如くに、粛然として覺えず襟を正すと云ふ、有様ださうです、是れは全くすま子其人に人格があり、又卓越したる藝術があるからでしよう、ソコで席上には非常に容貌の麗はしき花の如き美人が多く列してましても一向に引立ちませず、すま子一人は宛然女王の様に見えると云ふことを耳に致します、是れ全く藝術の美と精神美が發揮したる結果だと想ひます、すま子は八千代とは相異り、始より其容貌が問題にならなかつたし爲に却て年を取るに隨うて年一年其名聲が増して今も尚藝術を以て立つことを得て泰然として今後尚長き生涯を愉快に送ることを得らるるであらうと思はれます。

私は八千代も、すま子もまだ見たことはありませんが、只人に噂を聞きたのみで其許は想像でありますから、或は正鵠を得ぬかも知れませんが、要するに女は年齢に限りある其容貌の美のみを恃みに致しますと晩年に悔いることを免かれません、因て精神の修養は固より何の藝にでも一藝に秀でたるものは、自ら恃む所がありまして、落着きて居られるように思はれます。

(文責在記者)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭改良といふことについて

隱明寺しのぶ

家庭改良とか風俗改良とか申す言葉は、今より廿年も以前、私共小供の時より耳にはさみ、學校の先生からも聞かされたのであります。

近年は餘程家庭といふ言葉に重きを置くやうになりまして、これは婦人ばかりの研究問題でなく、識者の間にもなか〲重大視せらるゝやうになつたのであります。家庭の善惡は忽ち社會の風敎に影響を及ぼし、引いては國家の前途にも關するのであります。

私の生家の兩親は私共幼少の頃より、今日の言葉で申すと善き意味のハイカラ卽ち進取的の人でありました。其れ故當今種々の新聞雜誌に述べられたる家庭改良の實を擧げて居つたのであります。尤も實父は其後數年米國にも滯在して居りましたから、西洋文明の長所を採つた事と思ひます。

私は儒、佛、耶、を問はず家庭は宗敎のもとに司配したいと思ひます。私共の生家は耶蘇敎で有りましたから、幼時は必ず日曜學校に參りました。女學校は普通の公立に入學しました爲、宗敎は殆どお留守になりました、併しながら三つ子の靈百迄と申す譬の如く、神樣は寢て居つても起きて居つても何時何處でも私等を見て入らつしやる、其れ故惡い事はしてはならぬと敎へられた、其言葉は、今日に至るも忘れる事が出來ません、これは卽ち誠といふことで道德の根本でありますが、又家庭道德の根本と申してもよからうと思ひます。親を僞り夫を僞り妻を僞る事は出來ないのであります。家庭のうちに此のおきてが守らるゝならば此れ位うるはしきことはありません。

次には兒童は兒童らしく、成可く無邪氣に、出來得

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

るならば十四五歳までは子供あつかいにして置くことが必要でありませう。私共幼少の頃は夕食終れば間もなく本人は眠たくなくとも必ず一室に閉ぢこめられグッドナイトと申して眠らされたものであります。其頃は何歳位になつたら自分等は夜晩くまで皆の樣に起きておらるゝものかと考へたものでありました。小供はどこまでも小供らしく、成人の話をきいたり擧動を似ねたりしてはなりません、一體日本人は男女にかゝはらず成熟が早過ぎざるやうに思はれます。

次に食事に就いて申したいと思ひます。世の中にはよく何は嫌い何は臭いと子供の時から好き嫌ひを言ひ成人したる後もなほ上品なるが如く吹聽する人があります、此は誠に微細なることのやうでありますが、なかなか左樣でありません、私は十二三歳の時牛肉を好みませず、快よからざる顏を致した爲、父より食事を止めさせられ、學校の受持先生まで通知簿に其不心得を屆出られた事があります、其から後は決して好き嫌ひを申さず、兩親から與へられたものは何品にかゝはらず食する樣になりました。此の僅かなる事が自分の我を通す我儘の基を作るのであります。此に一つ面白い實例をあげて見ませう、私は先年はからず臺灣在住中、チブスに犯かされました、所が家族の手厚き看護と名醫の御蔭により世にも珍らしき良結果を以て全治したのであります。それは皆樣御承知の通りチブスは流動食のみでありますから、大抵の患者は嫌つて一定の分量をとらないさうであります、然るに私は病人と成つた以上はよく醫師の言を守り、一日も早く快癒させたいと思ひまして出來得る丈け牛乳と重湯を用ゐたのであります。或時は一日重湯六合牛乳四合を採りました、藥を加へて一升一合となると看護婦から笑はれたとであります。其故少しも衰へませず、尤も健康體の時と比較は出來ませんけれども、割合に元氣よく退院の時體量十三貫以上もありました。皆々驚いてをつたのであります、此は全く幼少の時より兩親にきびしく敎へられた御蔭であると感謝いたしてをります。

次は獨立自治といふことであります、人に依賴する

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

といふことは日本人の惡い癖であります、幼時より自治といふことを養つておかねばなりません、下駄を履かせる靴の紐をむすぶなど手傳つてはなりません、自分の事は必ず自分がするといふ習慣は最も大切なことであります。彼の支那婦人の如く自分の身を動かすにさへ人の肩をかりて運歩を運ぶなど丶いふ有様ではどうして國の進歩をはかる事が出來ませうか、世の中には事こそかはれ此に類した話は澤山あります何となさけないことではありませんか。生存競爭のはげしき今日獨立心のない樣な人はとても社會に齡することは出來ません。婦人ならば萬一夫に先だ丶れた時どうして多くの子女の敎育をして立派な人間を作る事が出來ませうか。獨立心のない爲め人を憎み天を恨んで惡事をなす人が澤山あります、かへす〲もこれは幼少の時より養つておかねばならない大切なことであります。

次は男女共に容姿をと丶のへるといふことであります、紅白粉をつけて美服を纒へといふ意味ではありません、淸潔なる衣服を正しく身にまとひ何時もにこやかなる顔つきをしてをりたいのであります、そして姿勢を正しくして口をかたく結すんでをりましたならば決して他より、誘惑などつけ入るものでありません。卽ち自分の身を自重することになるのであります。此も小さい時から兩親がよく敎育しておかねばならぬ事であります。日本人は多く姿勢がくづれてをります。た丶軍人生活をして居る者は姿勢が正しくあります、新兵の入隊した當時は誠に可笑しな姿をしてをりますが、追々眼のつけどころ手足の動かしかた服の着方と一々細々敎へられますので型にはめた如く正しく成つてしまふのであります。ボタン一つはづれて居つても帽子の徽章が歪んで居りましても、嚴しく注意されるのであります、これは軍人ばかりでなく、一般の人もよく心得ておかねばならぬと思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

筒袖と公の招待状

加藤さき子

一、筒袖の善悪は問題でない

私の夫は何事でも世の中の下らぬ因襲や、無意味な習慣に降參して居る事が嫌ひで、家の建方でも臺所の作りでも、食事の拵へでも皆改良々々で、一般世間の家庭とは大分違つた所が御座います。中にも筒袖の衣服を着ます事は、夫婦とも十數年來之を實行して參りました。初め私どもが、之を始めます時には相當に同志の方も御座いまして皆云ひ合せたやうに袖を廢したので御座いますが、他の方は少時する中に皆廢めておしまひになりました、今では私共夫婦が殘つて居るだけかと思ひます。

筒袖が衛生の上から云つても、風儀の上から云つても、長い袖のある着ものよりは宜しいといふ事は、何人にも分つてお出でのやうで御座います。斷然筒袖の着ものに改める事の出來ない方も內心は風儀上、衛生上、又、實際上筒袖がよろしいと思つてお出でなさる、處が其實行が容易に出來ませぬ。

二、汐くみのお姫様

女も太古は男と同じやうに働いたものださうで御座います。だから何處の國の歷史を見ましても太古の女は皆筒袖で御座います。處が、其後、女が男の附屬物となりましてからは、外に出て働く必要がなくなつたさうして只管優美に風雅に裝うて男の御機嫌を取るといふ必要から運動に不便な、衛生によろしくない、袖といつたやうなものが出來て來ました。日本服の袖は女が男の私有財產であつた時代の名殘とも見られませ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

う。

其證據には下層社會になりまして女が男のやうに荒い稼ぎをしなければ暮して行かれぬ所では、自然に筒袖が行はれて居ます。農夫とか漁夫とか土方とかいふものの家内は汐くみのお姫樣見たやうに振袖で働いては居ますまい。

處が日本も近頃は大分時勢が變つて參りました。女が太古のやうに世の中に出て、男と同じやうな働きをしなければならぬ氣運に向つて來ました。之は議論ではありませぬ、事實で御座います。此事實は何人も否定する事は出來ませぬ。其處で日本の女もモウ好い加減に袖を廢めねばならぬ時勢に際會して居るといふ事が云はれませう。むづかしく云へば、日本の婦人服は實際上、改良の必要に迫られて居るので御座います。

三、政府に注文がある

私が只今まで筒袖を着用して參りました經驗を申上げますると、衛生上、風儀上、又實際上善い事はありましても、之と云つて不便な事はありません。處が唯一つ困ります事は政府が此筒袖を認めて呉れません爲に、公の招待狀などに男子はフロックコート、女子は白襟黑紋付と指定されてある事であります。恁ういふ場合に私は筒袖に袴を着用致しまして、禮儀に添ふやうには致して居りますが、日本の婦人の禮裝が公から白襟黑紋付と定められてあります以上、筒袖は却々世の中に行はれますまい。私が前に申しました通り、善いといふ事は十分に分つて居ながら實行の出來ぬといふのも其原因は此邊にあるのではありますまいか。

其處で私は日本の政府の方に注文がある。それは日本婦人の風俗を改めるといふ御趣意から筒袖を御認めになつて、公の招待狀などにも、白襟黑紋付若しくは同筒袖に袴着用といふ事に指定して下すつたならば、必で善いと思つて居ながらそれを實行する事の出來ないで居る方々が、我も我もと爭つて筒袖を着用される事と信じます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

衣服の改良を思ひたつた動機

入澤常子

女の子の四五人もある人が、女學校に入れたいけれど月謝などは知れたものだが、衣服に困るからやう入れないと申されます、着物のために學校に出せないなんて何といふつまらぬ事でしやう。私は男學生に制服のある如く女學生にも制服をこしらへて欲しいと思ひまして、少しばかりつくつて乃木大將に御相談しやうと思つてゐるとおかくれになつて中止になつて了ひました。その他の學校にもお話して見ましたが、生徒自身に改良するのはよいが制服にするのはと申されました。又先年千葉の先生が萬引をされた時に女敎師ともあらうものがと諸新聞は大變にかきたてました、それは惡い事にはちがひないが、男子でも隨分惡いことをする人があるのですからあまり女子にのみ酷だと思ふにつけ、世の中が贅澤になり、小さい小供と雖も先生の服裝のことを彼是批評するから、女敎師と雖もなかなか服裝はいる、とても女敎員としての月給では一組四五十圓もするやうな衣服は出來ません、さうかと云つてそんなに粗末なものを用ゐる事も出來ませんからこれは同じ地質で拵へて少しか、費えないやうに工夫するより仕方がない。どうかしてせめて一組五六圓位で出來る樣にしたいと思ひました。

一反で三枚出來る着物

半襦袢のやうに帶から上丈けの着物をこしらへておいて、學校に出る時丈け着るのです。下着は袴の古いのをつぎはぎして拵へると上にはいてゐる袴が風であほられて下着が見えても見苦しくなくてよろしい、袴の古いのをつぎはぎして着せると云ふ事は日本のやう

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に貧乏な國では小供の爲めにも結構だと思ひます。

男の子の他所ぎにも

男の子は常に制服を着てゐて、めつたに外出着は不必要だのに、こしらへておいてもぢき小さくなつて仕立なほさねばならぬから、やはり單で襦袢の如く上半身丈けを衿巾を廣くしてこしらへ、袷や綿入の上に着て下着の中へ折返して着せるとよいと思ひます。

一反で羽織と着物と

拵へたいと思つてゐます。上はやはり襦袢の如きものをこしらへ衿丈け共切れでかけ帶から下は普通着物と同樣に仕立て紐をつけて帶の下にくゝる樣に拵へて見てをりますがどうもこれ等はまだ充分とは行きません。が

多好帶

これ丈けは皆さん便利で經濟だと云つてぼつ〳〵して下さいます。

元來の帶は二丈餘もあるものをぐる〳〵巻くのですが、不經濟でもあり、時間もかゝるので、何とか見える處丈け、同じ樣に見えて經便な工夫はないかとこれは十數年間も考へてゐましたがやつと成功いたしました。これは帶上げの古いのでも、古帶のいたまない所丈けででも出來ます。たつた六尺あれば、裏も表も出來ます。今年の博覽會にも出しました、諸雜誌でも紹介されましたから皆さんの中にはとうに御承知かも知れませんが、こゝに仕立方をかき添へます。

多好帶仕立方説明

中年の婦人の寸法

一、切地　全體にて六尺。一、胴まはり　三尺九寸。一、結び目　三尺一寸(但し之を二ッ折にする)

圖解

第一、(イ)と(ロ)の間を二つ折にして兩はしを縫ひ表に返す但し結び目の方を先きにすること。

第二、(ハ)と(ニ)の間に「カクシ」をつける。

第三、胴廻りを二ッ折りにして(ホ)(ヘ)の間と(ニ)(ヘ)の間とをくけ

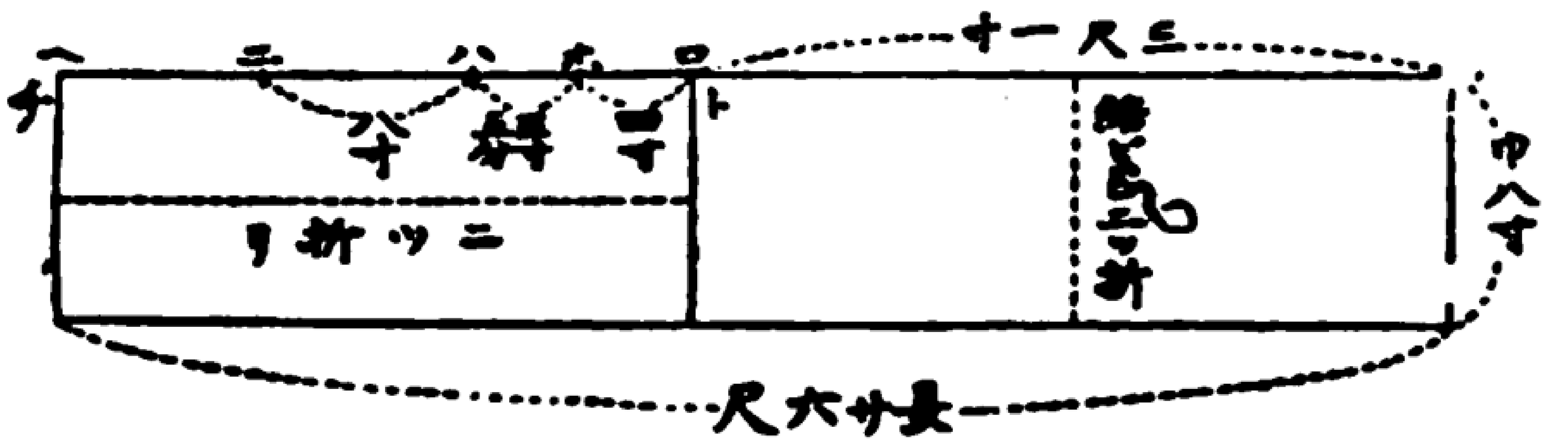
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

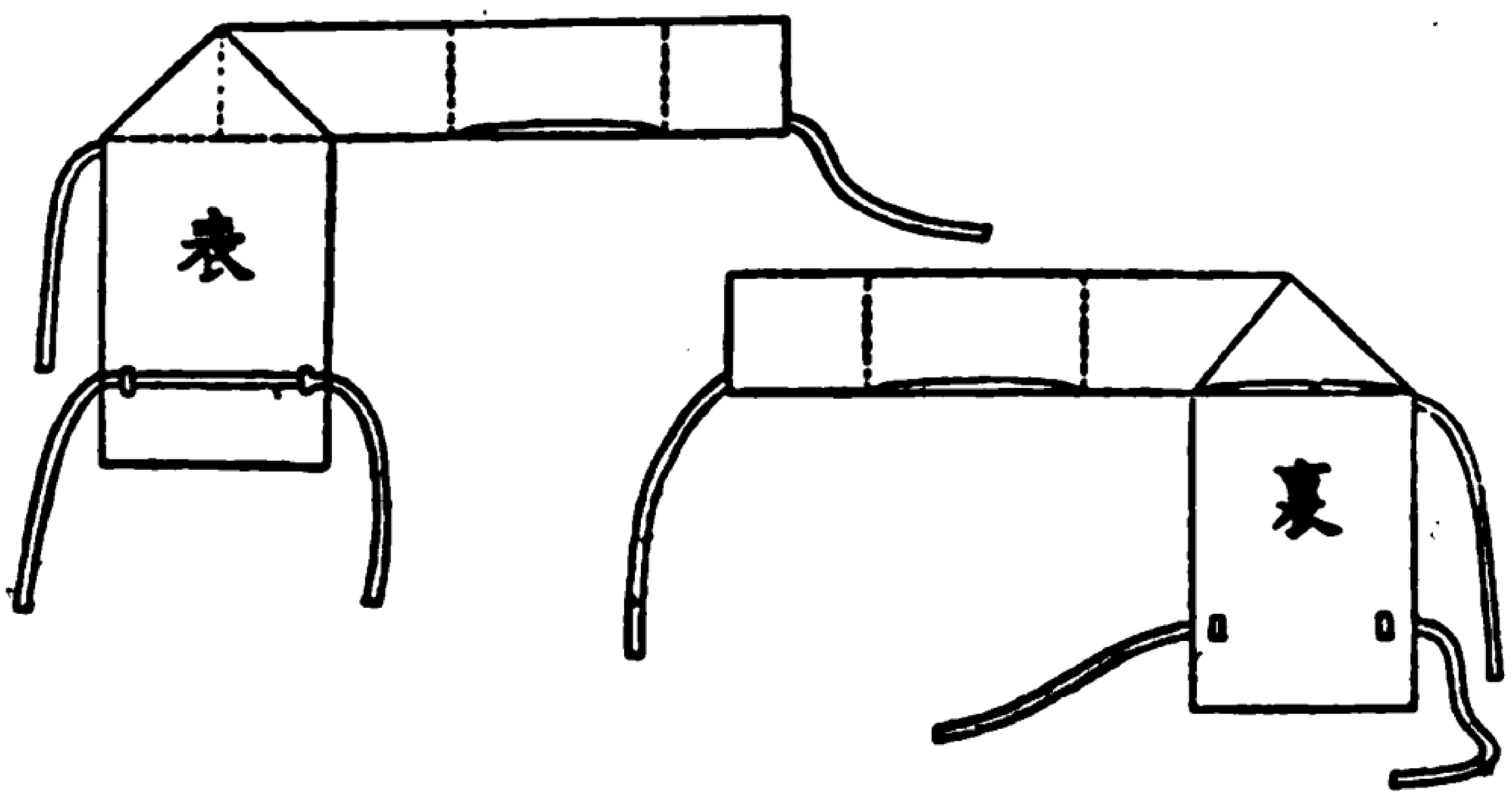
。

第四、(ト)と(チ)の處へ紐を固くつけてくける。

第五、(ロ)と(ホ)の間を三角に折りて右へかへして角を止める但し此處に三角な袋が出來る。袋の中に三角の絲瓜を入れる。

第六、結び目の下より四寸上に帯留とほしの紐をつける。





第七、結び目の長は中年の方は一尺五寸ですが若き方は一尺六寸を可とす其他年齢及帯揚げの高さに依りて五分乃至一寸の長短をあんばいすること。

■帯のしめ方

第一、帯止通しに帯止を通し置く。

第二、結び目のところに帯揚をあててかりにしめ置く。

第三、胴廻りを廻して付けたる紐をしめ帯揚のきれと共に前にて結ぶ。

第四、帯留にて極く僅かすくふ樣にして締める(つけたる帯留がかくれる位でよし)。

■多好帯の得色

△普通帯の樣に體を締めないから至極衛生的であります。

△普通帯一本の切地で三本出來ます。

△帯止も、カクシもついて居ます。

△結び上げた格好は普通の帯と少しも變りません。

■女兒用多好帯

一、少女用は胴廻りと結び目を切離して作る。

一、胴廻りは一重に作り袴下に用ゐますが學校から歸ると其上に背後の結び目を背負せますから便利です。

多好帯(たすおび)

日本の婦人帯は啻に澤山の無駄の切地を要し甚不經濟なるのみならず之を締むるに多くの手數と時間とを要し不便尠からず且つ頗る非衛生的にして殊に厚地の帯の如きは胸腹部を緊縛すること甚しきを以て其一日の改良も忽せにすべからざることは何人も異論なき所なるべし。

此度考案の結果新に發賣する此多好帯は經濟衛生實用の三點を具備したるものにして諺に云ふ帯に短かく襷に長しと云ふ其襷よりも丈短かくして亦締め心地宜しく其恰好は毫も普通の丸帯と異なることなく最も優美なり價格は普通の三分の一にして例之ば繻珍の帯一本三十圓のものが十圓にて求められ縮緬の帯は三圓内外木綿の帯に至りては一本の價僅に七八十錢にて足ることとなり故に此多好帯の發賣は實に婦人帯の大革命と云ふ可し。

特色

▲普通帯のやうに帯で體を締めませんから至極衛生的であります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▲普通帶一本の切地で三本出來ます。
▲帶止も附いて居ります。
▲かくしも附いて居りますから携帶品を落す心配がありません。
▲結び方は左右自在で且つ結び上りの恰好がよく夏はすゞしく冬は羽織下として最も適當です。
▲少女用は學校行袴下に用ひられ結び目の方は歸宅後袴を脱いだ後子供自身で結びつけられますから他人の手をはぶきます亦兵兒帶よりは上品です。
▲從來の帶は締めるのに時間が四五分かゝりますが多好帶は一分間もかゝりませんから一人一ヶ月には二時間のとくになります總ての日本婦人が皆な此多好帶を用ひたならば一ヶ年には四億八千萬時といふ驚くべき時間の經濟になります此一時間に一錢宛の仕事をしても一ヶ年には四百八十萬圓の利得になります一本の帶の改良は國家に多大なる貢献をします。

黒き瞳

上野さくら子

人形の黒き瞳を見てあればたゞなんとなく人なつかしき。
さびしければ家の人とも物言はで京人形を一人愛でける。
わけもなくたゞ悲しくて泣く我をなぜかなぜかと問ひたまふ君。
何故の悲哀か知らず熱涙が流れ流れてハート痛めり。
公園のさびしき杜をゆきかへしわがなく涙君は知らなく。
公園のベンチによりて星の夜を北斗星見て涙ぐむかも。
假りにわれ嫁ぐと言へばいかならん君は血迷ひたけり狂はん。
ほそ〳〵と汽車の煙の消え行くを望遠鏡にて見る冬の夕。
命より尊き黒髪も君故に落毛するかと嘆く夜もあり。
色あせてしをれし挿花を捨てもせず悲しく今日も眺め居るかや。
悲しみは我にはなしと笑むわれも夕べとなれば杜に來て泣く。
悲しまじ悲しまじとはつとむれど永き別れと思へば悲し。
黄昏の灯のつく街歩み居りわが戀ふ人は遠き水府に。
ひたすらに常陸平野と思ひつゝ君思ひつゝ街を歩めり。
さだめかや吁さだめかや結婚はうれしきものか悲しきものか。
鏡見て艶ある髪をよろこびて君に逢ふ日を指折りて見ぬ。
サラ〳〵とカーテンゆるゝ音聞けば君がますかと思はるゝ夜。
ヴイオリンを彈けど誰が聞くたれ聞く聞く人もなき身をば淋しむ。
夕日さす頃ともなれば疲れより湧く哀愁に先づ君思ふ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

謹賀新年

人間一年の
健康を計るは元旦に在り
元旦から怠りなく
靈藥
中将湯を
召さるゝ御婦人は
春夏秋冬の四季を通じて
何時も健康

主治效能

- 子宮病・内膜炎
- こしけ・白血長血
- 難産流産・下腹痛み
- 胸先差込・足腰冷込
- 引つれ痛・産前産後
- 血の道・逆上頭痛
- 癇高ぶり・氣ふさぎ
- 夜眠れず・月經不順
- 月經痛み・月經滯り

定價

四日分	參拾五錢
一週間分	六拾錢
二週間分	壹圓拾錢
三週間分	壹圓六拾錢
五週間分	貳圓五拾錢

本舗

東京日本橋通四丁目
津村順天堂本店
振替口座六〇八番

大阪堺筋大寶寺町
津村順天堂支店
振替口座四五六番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

舶來リウマチス特効藥

リウマテア

本劑は元明治女學校教授たりし英文學者川井運吉氏が往年米國に留學中リウマチスに罹り恩師シーレー博士**秘傳の本劑**を惠まれ頓服一粒にして病忽に癒ゆ不思議に堪へず懇請其秘劑の傳授を得歸朝後之を親戚故舊に試むるに皆靈効あり即ち救生の爲め官允を得て普く之れを發賣するに至るや諸方本劑の奇効を確認し**謝狀**に接したるもの實に**無數**就中前青森縣知事武田千代三郎氏農學博士外山龜太郎氏文豪村井弦齋氏救世軍大佐山室軍平氏夫人辯護士沼田宇源太氏同野平穰氏報知新聞記者谷新太郎氏萬朝報記者柴田英隆氏女子大學教授戸川殘花氏令孃の知名の諸士より**實驗上靈効顯著**なる旨の禮狀又は公表を忝うせるは弊園無上の光榮とする所弊園は聊か誇大の言を弄して世人を欺くものにあらず。請ふ世の**リウマチス**に惱める所の人士よ安んじて此安價にして奇効ある靈藥**リウマテア**を速に御服用ありて御身の苦痛を去り永く人生無上の幸福を得給はんことを

▼最近服用者の禮狀▲

拜啓益々御清榮賀奉候陳者リウマチス病人儀始めは足痛の爲夜分も眠ること出來ぬ位に御座候處貴家より靈藥御送附に預り早速服用致し候處御吹聽に違はず少々下痢致し候後忽ち効驗相現はれ歩行にも苦しまざろやうに相成候段靈藥の賜と相感じ難有厚く御禮申上候 敬具

大正四年四月十八日

愛媛縣西宇和郡八幡濱町

第廿九銀行八幡濱支店 藤井武治郎

壹劑 五日分十粒入 **價金壹圓** 並送料二錢 書留送九錢

□注意 本劑の服用は少しも服み惡しきことなく又食物に差合ひなし

發賣元 東京市日本橋區箔屋町十四番地 **明治藥園**

電話本局二〇八五番振替九一七二番

藤本藥學士數年間研究の上發見せらる現代の奇藥**ピローゲン**は凡そ身体中生ゆべき所に毛のなき人、髮の毛薄き人、ぬけ毛の人、確にはへる偉効は論より證據各實驗者の證明にて明かなり他の毛生へと違ふ彼れ是れと迷はずゼヒ御試しあれ他に類のなき毛はへ藥代金はかわせ又は振替にて御申込あれ

價大二圓、中一圓、試六十錢、特製三圓、送料は各八錢

東京兩國横山町三丁目

發賣元 玉置文治郎

藥種問屋 電話浪花五百十番 電話浪花五百十一番 振替東京四五一四番

花柳病豫防液

ゼニール

専賣特許

旅行家は必ず本劑の携帯を忘れ給ふな

「ゼニール」は花柳病の感染を豫防する未曾有の特効を有し之を裝置する安全注入器は携帶至便小形堅牢なる特許品にして秘密使用に恰適す、花柳病の恐ろべき害毒を知る諸士の忘る可らざるは此「ゼニール」本店は勿論何處の取次店も大に歡迎す決してきまりわるがり又は僅の金をおしみ給ふな、特に夫に病毒ある妻君は是非此藥を用ひられよ、說明書あり申込あれ

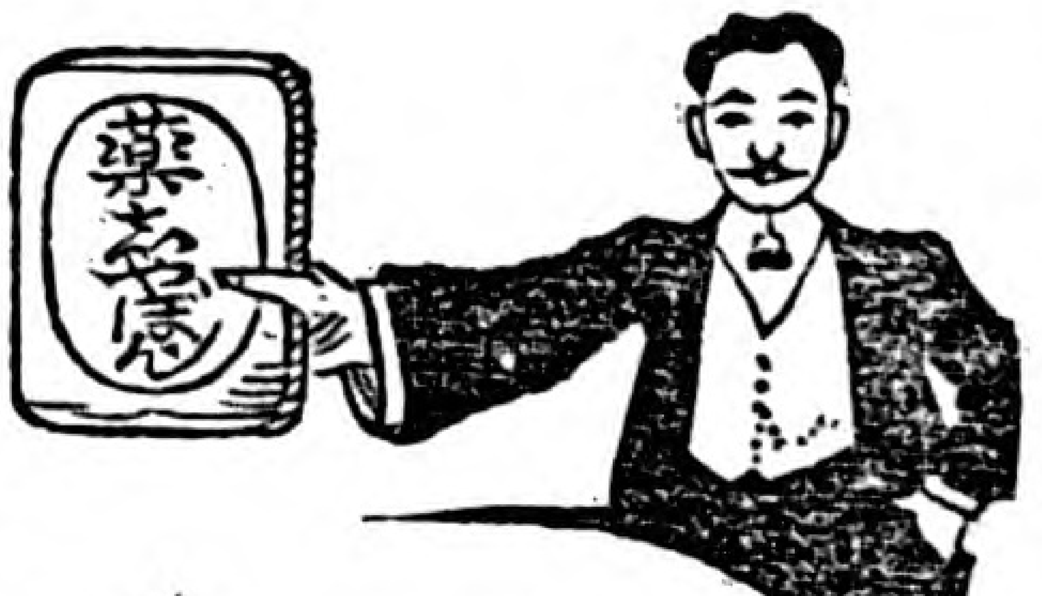
御婦人は藥液ばかりでも間に合ひます

精錡水はヘボン大博士の文明的理想の處方にて調製せる目藥にして幾千萬の患者を救ひし事は世間に定評あり

東京銀座
岸田吟香商店

定價

特製（器械藥液）	一組	二圓
甲種（器械藥液）	一組	壹圓五十錢
乙種（器械藥液）	一組	七拾五錢
藥液ゼニールのみ	一瓶	廿五錢
送料	各	八錢



にきび、たむし、しつ、ひぜん等に著しき効力あり

定價 五錢・十錢

東京銀座
岸田吟香商店

東京銀座貳丁目 發賣元 精錡水本舗 岸田吟香 振替東京四七八七番 電話京橋一六五一番

腦精神病専門

東京巣鴨町四丁目巣鴨電車終點先二丁

巣鴨腦病院

（長電話番町三〇九八）

院長　醫學博士　石川貞吉

入院隨意

●らい病

患者と血統者に急告す

秘密療法及豫防新書を送費二錢送れば無代送呈す一日遲れば千日の悔あり今直に申込め秘送は小包料八錢要

東京下谷車坂町五二　福田秋水

腦神經精神病

東京赤坂　帝國腦病院改

青山腦病院

院長ドクトルメヂチーネ　齋藤紀一

醫學士三名

田澤醫學士

特長電　芝二七四五　芝二六六五　芝三六七四

腦病精神病専門

東京田端

東京腦病院

電話谷二二〇二番

院長　後藤省吾

醫學士　黑澤良臣

カタノコリ、神經痛、リウマチス總て痛所に妙効あり（五錢●十錢●二十錢●五十錢）全國到る處の藥店にて販賣す

東京市日本橋區箱崎町二丁目　東京製藥社

最も人にきらはれる

わきが

の病に罹られたる御方又永年慢性わきがにて色々の治療を施されても治らずに苦まるゝ御方の爲めに不思議によくきく治療法を御知らせ致します御望みの御方は御遠慮なく只返信料三錢切手御送り下されば御知らせ致します

東京神田區錦町三ノ三　中村喜三郎

家傳靈藥

ぢの藥

自宅ニテ安全ニ治ル

●イボ痔●痔痒●裂痔●痔出血●脱肛痔●痔瘻●不灼不切現狀の儘で治療奏効頗る顯著の

家傳靈妙藥あり「ハガキ」にて申込有ば病原理由自宅自療法の說明書呈す

●東京市京橋際疊町壹番地

製藥本舖　小松盛林堂

電話京橋二九七

産婆看護婦派出
生徒養成

東京市芝區三田四國町二番地五號

東京衛生團産婆看護婦部

電話芝八百六十四番

部長　産婆看護婦　山下まつ子

府下荏原郡大崎町大字桐ヶ谷三百五十九番地

産婆部　大崎支局

産科婦人科
小兒科

宅診午前
往診午後

内藤新宿番衆町三一

女醫　井出茂代

電話番町三六七七番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産科婦人科小兒科

女醫 吉岡彌生（鷲山改め）

院長診察 宅診午前 往診午後

醫員診察 午後

產室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京麹町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

（電話番町二二五七番）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

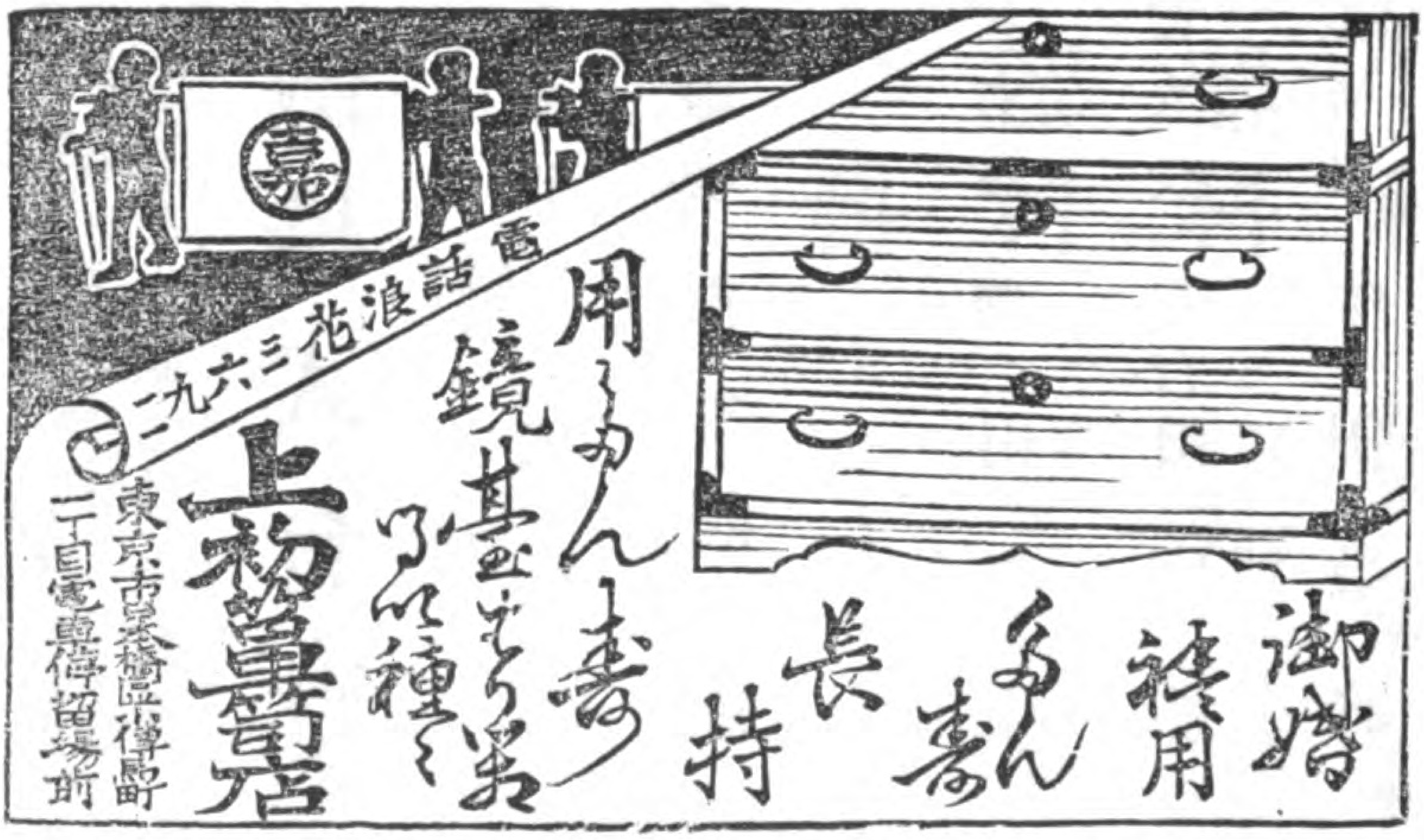
小兒五疳驚風

本方
奇應丸

新年の
御慶
目出度
申納候

虫おさへの
妙藥

東京ぎんざ三丁目
松澤商店



謹賀新年

東京市麹町區內幸町一丁目三番地
電話新橋長二一〇〇、二一〇一番
振替貯金口座 東京一八、九〇〇番

太平生命保險株式會社

社長 中村靜嘉
專務取締役 楠秀太郎
取締役 村井貞之助
取締役 內野五郎三
取締役 前川善平
取締役 倉知誠夫

取締役 左右田棟一
取締役 舟木錬太郎
監査役 潮田方藏
監査役 左右田信一郎
監査役 中田敬義

産科
婦人科

篠田病院

（入院随意）

女醫 篠田せい子

本郷區丸山新町

電話下谷四〇六八

リウマチス

▲難病にてあらゆる療法効なく御治る弊店家傳の…………困りの御方に不思議に早く
秘藥を御報らせします、御全快の皆樣から日々澤山の感謝狀を下されます

東京市淺草觀音仲見世。天勇横通

井筒屋油店

電話下谷……三一五番
振替口座一九六五二番

皮膚科 梅毒科

泌尿器科 腎、膀胱、尿道、睾丸、攝護腺ノ疾患

生殖器科 男女生殖器機能障害

婦人科

日本橋區通二丁目白木屋出口前

電本局三九八〇番

中嶋醫院

院長 ドクトルメヂチーネ 中島鎌太郎

新設 芝區田村町十三番地愛宕下町通り

中嶋醫院

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ホシ血の道藥

奏効確實なるは

ホシクスリ

ホシ

血の道藥

月經、子宮病、**ヒステリー**其他

婦人病

定價 小包二貼入 十錢
箱入四貼 卅五錢
同 七貼 六十錢

ホシ

婦人座藥

子宮の痛み、膣**カタル**、痳毒性

子宮病、月經時の疼痛等

定價 三個入 廿錢
九個入 五十錢
廿個入 一圓

其他製劑四十餘種市內及全國各特約店にあり

資本金百萬圓

星製藥株式會社

東京京橋

電話京橋特一七八五 振替東京二〇五二二

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭より病魔と陰鬱とを驅逐する最簡便法

西川光次郎

食過ぎが萬病の始まり

凡そ世に食過ぎをせぬものは至て少ない。大抵な人は三度三度食過ぎをして居る。食べたくなくても時刻だからとて、飯時が來ると食べ、いよ〳〵食慾が起らなくなつて來ると、酒の力を借りたり、タカジヤスターゼの力を借りたりしてまで食べて居る。どこまでも食べぬと衰弱すると考へ、食べられなくなつても、食べる工夫をのみ凝らして居るのである。食慾が起らぬと云ふことは『天然が、お前の胃腸は今損じて居るから、暫時休養を與へよ』と言ふことに外ならぬのであるが、人々はソレに氣付かぬのである。

其の結果、直接には胃腸病となり、引ては心臓の動悸亢進症、リユマチス、疝痛、糖尿病、肝臓病、胃癌等様々の病氣にかゝるに至るのである。

病氣と云はるゝ程にはならぬまでも、不消化を起したり、便秘したりすると、怒りぽくなつたり、悲觀したりするから、家庭に不健康者が出來ると自然家庭が面白くなくなる。

家庭より病魔と陰鬱とを驅逐するには

ソレで、家庭より病魔と陰鬱とを驅逐するには、どうしても過食をせぬようにせねばならぬ。即ち節食と云ふことを三度の食事毎に忘れぬ様にせねばならぬ。罪は罪を生むと云ひますが、全く其の通りで、食事の際に食過ぎと云ふ罪を犯せば、其の罪が子を生み、孫を生みて、其人の一身のみならず、其の人の家庭にも周圍にも惡影響を及ぼすのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

けれども何時も節食すると云ふことは易きが如くにして易くはない。其の上に胃の消化は其人の精神狀態の變化によつて變化する。即ち面白く愉快に話しながら食べれば、澤山食べても消化するが、獨りで淋しく食べると少量に食べても消化しない。犬でさへも音樂を聞かせながら、食べさすと能く消化し、食事して居る猫の尾を引張つて怒らすと忽ち胃の働きが止まつて了ふと云ふことである。ソレで假りに食物の量を一定し、ソレを嚴守することが出來ても時に消化力に比し食ひ過ぎにならぬとは云へない。されば節食論では、假りに行はれるとしても、人間から過食の害を除くの完全な方法とはならない、此の方法は

斷食の外になし

時々過食の狀態になつて、消化不良を起したり、食慾が起らなくなれば、胃腸に暫時休養を與へるに限る斷食して暫時胃腸に休養を與へさへすれば、自然の食慾が起つて來る。其の時に食べる樣に、食べる樣にすれば、何にを食べても美味であるし、又身體の養ひにもなる。

三日以上の斷食となれば、色々研究した上でしないと危險であるが、一日若しくは二日の斷食は誰がしても何等の危險がない。而して一日二日の斷食で、大抵な人は其の胃腸を完全に健康狀態と爲すことが出來る朝食一度廢する丈けでも、毎日〳〵ドレ程食事が愉快に食べられる樣になるか知れない。永き斷食を要するのは、多年の慢性病を癒す場合に限るのであつて、甚しきに至らぬ前、時々胃腸に休養を與へて、胃腸の健全を保つて行くのには、一週間に一度位づゝ一日斷食したり、或は一週間に二三度、朝食を廢止する丈けで結構である。斷食中は一時間毎にコップに一杯位づゝ水を飲むがよい、之れが休養中の胃腸を洗ふ爲めに必要なのである。又努めて深呼吸すべし、之れは體内の老廢物を燃燒せしむるに必要なのである。

私は近く、斷食療法に就ての一書を出版するから詳しいことはソレで見て貰ひたい。私は斷食に關する

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

究をした結果、家庭より病魔と陰鬱とを驅逐する最簡便法は、斷食にありと確信するに至つたものである。

現に私の家では

私共夫婦のみは、二三ケ月前から朝食を廢止して居るが、爾來は、之れまで月に何度となく消化不良や食慾不進に困らされて來た自分も、食事を美味しく食べざる時なきに至つた。私は朝食廢止以來

空腹の喜こび

と云ふことを痛切に感じて居る。消化不良、食慾不進の狀態の時には、何を食べても美味しくないし、又何にを食べようとの氣も起らぬので、人生に望みが少なくなつた樣な氣がするが、一食を廢して次の食が待ちかねる程に腹が減ると、食慾を感ずるに比例して、生の感じが強よくなつて來る。

私は右の如く、手近な所から云つても、更に〲深い所から云つても、『空腹の喜こび』と云ふことに意味があると考へる。古來宗教家と云はれる宗教家で、斷食しないものはない、併し其の事に就ては別に他日述べることゝする。

食養の話

食養會專務理事　西端學

◎私が食養の研究を始めた動機から話ましよう。私の妻が村井弦齋の食道樂を讀み、ソレから習うて西洋料理を拵へて、無暗に食べたのが原因となつて、妻は重い胃病に罹り、色々と治療を試みたが、どうしても癒りませぬ、最後に石塚左玄先生の食養法を試みし所見事に癒つた。私は之れに驚いて食養の研究を始め、且

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つは聊か報恩の爲めに、食養會の爲めに働き始めたのでしたが、ダン／＼深入りして、今では此の事を、自分の仕事の樣にして、專心一意盡力して居ります。

◎能く肥つた鷄の肉や、馬肉を水で煮ると、黄金色の玉が澤山に湯の中に浮ぶ、之れを俗に脂肪と稱して居るが、之れは云はゞ肉の滓であつて、此の滓があるから、肉食すると、どうしても便秘するのであります。又肉にはプトマイン、死毒鹽基、若しくば壞血毒と譯すべきものがあります。されば肉食と同時に野菜を食べないと、人は直ちに便秘と壞血病とに罹かります。スチッセエル將軍が、難攻不落の旅順を開城したのは彈藥の盡きた爲めでも、糧食の缺乏した爲めでもない野菜がなくなつて、便秘と壞血病とで斃死するものが日に／＼多くなつて來た爲めであります。此の旅順で捕虜となつて居た日本人は、久しい間肉とパンのみを與へられ、野菜を呉れぬので、腰ぬけになつて居たが開城後、野菜を味噌汁に入れて食べさすと二週間にして皆な腰が立ちました。

◎芳原土手八丁の牛肉屋の主人の中に、一人食養會の會員になつて居る人があるが、此の主人は面白い男で、自から座敷を廻はつて歩き、客が肉のみ食べて居るのを見れば、ソレではならぬ、錢は入りませぬから葱や大根おろしや澤庵をとつて、一緒に食べて下さいとス、メると云ふことであります。

◎肉を迷信して、野菜を輕蔑して居る人達に御一考を願ます。

◎世のハイカラの中には、西洋人の眞似をして無暗に西洋料理を食べたり、溫帶の日本に住みながらバナ、やパインアップル、熱帶の果物を食べたがるものがあるが、之れは間違つた話であります。所謂『身土不二』で、其の土地に出來るものを食べるのが最も善いのです。臺灣へ行かば臺灣の米を食ふのが最もよいのであります。

◎私共の齒は上下合せて三十二枚、此の中二十枚は奥齒です。此の奥齒の數丈け米を食べ八枚の前齒の數丈け諸種の野菜や魚類を取雜せて食べればよいのであり

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ます。即ち御飯は六割二分五厘、お菜は四割弱であるのが、丁度よい割合であります。動物の歯を見れば其の動物の食物は分る、歯の形から食物を判斷することが出來る、其の道理から判斷して右の割合を定めたのであるが、日本人には此の割合が適當して居ります。其の地の產物を右の割合に食べるのが、人間食物の原則であります。

◎米は白米よりは玄米か半搗米が宜しい。野菜の如きも、皮なり煮て食べるがよい。成るべくは皮なり切らずに丸煮がよい。コプと油揚を入れて一緒に煮ると、丸煮でもよく煮て、鹽からくしても、丸煮ならば中へは醬油が浸まぬから甘しく食べることが出來ます。

◎物を切る場合には庖刀のことを考へねばならぬ、豆腐屋は鐵で豆腐を切らぬ、眞鍮の庖刀で豆腐を切る、物によりて庖刀が違はねばならぬ。昔、將軍家の料理人は竹の庖刀まで使うたと云ふことであります。

◎小鳥や小魚を煮たり燒いたりして、頭も骨も一緒に食べると胃腸が健全になります。たゞ煮たのは、骨が硬くて食べ難いとならば、小魚なり小鳥なりを煮る時に、番茶を焙じて一摑み袋に入れ、此の袋と薑とを一緒に其の鍋へ入れて煮るがよろしい。二時間ばかり煮て下し、翌日茶袋を出して、鍋を再び火にかけ味をつけて食べると、骨がスッカリ軟かくなつて居ります。

◎蜜柑の皮でも、野菜の皮でも、小鳥や小魚の骨でも內臟でも、糠でも、何んでも、色々と食べる必要が、確かにあるのであります。牛乳、生卵、刺身、此等のみ食べて居ると、必らず身體が弱くなります。

◎今回は之れ位にして置いて、後は次號に致しましよう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

健康の爲めに日光を利用せよ

ドクトル　渡邊鼎

日光の動植物に及ぼす力は偉大なるものにて、只に動植物のみならず、天地間の森羅萬象直接間接日光の力によらぬものはないと云つてよい、日光の光りは肉眼で見れば一つの光りであるけれども、之れを三角玻瑠管にて分析するといくつにも分れて來る、七色にも分れるが、決してそれ丈けに限つてゐるのではない人間の區別し得る丈けに感ずるので尚其他にいろ／＼の色があれば分たれるかも知れぬ、丁度音響にさまざまある如くに。

日光なるものは何故動植物に偉大なる關係を以てゐるかと云ふと、日光の中には化學的作用を起させる力を以てゐる光線がある。只に化學的作用を起さすのみならず、共に溫を起さす力も以てゐる、人間は日々如何にして生活して居るかと云ふと、肉類野菜物を食物として生活してゐる、其食物米芋などは皆日光の力によつて出來るのである。木の發育するのもやはり日光の力によつて發育する、花も葉も實も皆日光の力による。植物には皆葉がある、其の葉の中にはクロ、ヒユール（綠葉素）と云ふものがあつて、其クロ、ヒユールが日光を受けて植物を養ひ、實を結び成分をこしらへるのである。日光の作用によつて實や根や發育させるそれ等が人間に食されて人間の養となる、動物も又皆植物を食して生活する（其の中にはやはり日光にてこしらへたるクロ、ヒユールを含んでゐる）それを人間が又食する事になる。つまり人間は動植物を食して生活する、その動植物は日光の力によつて出來たものである。人間の働き一擧手一投足も細胞によつて出來る其の細胞の組織は食物によつて補給される、エネルギ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ー動力に過ぎない、其根源はどうかと云ふと日光の働きである、日光の働きが植物にうつり、動物にうつり之が又人間にうつるのである、又日光の力は單純に植物の葉に化學的作用をするのみならず、溫度や水分の働きも日光の力によるのである。たとへば日光の溫度で地中の水分を蒸發させ、雨となりて降り、又土中の働きを助ける、昇つた土中の陰電氣陽電氣が、含まれて其結果積極と消極との懸隔を起して雷を起し、土中の不潔物を分解する、深山に木が茂り水源を起すのも日光のエネルギーの變化に外ならぬ。それ位日光の萬物に及ぼす力は偉大である、それは自然的になつてゐるのであるか、また人が日光の力を應用すると云ふ事には極注意を怠たつてゐる、其の力を應用して或は生育を助け、病氣を治し、衛生上の必要な事に日光を應用することが巧みになつて來ると藥も不要になり、消毒に於ても日光ほど完全なものはない、機能も一寸日光に觸れたとふれないとによつて働きがちがつて來る、日光は化學的作用を起すのみならず刺激劑になつてゐる、日光は植物に於けるクロルヒユールに及ぼす力が潜在力となり實になり根を太らすと同樣人體にありては血液中にあるヘモグロビンになり、空氣中の酸素を吸收して組織中に送り、新陳代謝をなさしめ、腦や四肢及び五官に波動を及ぼすのである。益々消毒に衛生にいろ〳〵と日光の力を應用する樣にはなりつゝあるが、まだ〳〵智識が低い爲めに不完全である、將來は益々有益なものになることと信ずる、昔伊太利の諺に『日光のは入らぬ處へは醫者が入る』と云ふ諺があるが、眞に至言と云ふべきで殊に一家中の生命衛生の源である臺所には日光が入らねばならぬ。

此の號には日光の人體に必要なる大體論を述べしが次號より逐號具體的に之れを說きたいと思ふ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自然療法講義（一）

ドクトル　葛岡宗吉

はしがき

之れから本誌の紙上に於て引續き、私の習得した自然療法に就て申述べようと思ふのですが、先づ自分のことから申さねばならぬ。

私は幼ない時から虚弱な質で、お醫者さんからは『三十までは生きまい』と云はれ、知人からは甚く痩せて何時も青い顔をして居るものですから、憐れまれたものでした。けれども渡米してから自然醫の敎に從ひ科學的に深呼吸もすれば運動もした爲めに、非常に壯健になつた。ソコで自然療法に就て一層深く學びたいと思ひ、ベネデクト、ラスト先生の天然治療法（天理治療法は發見されてから二十年にしかならぬ、従てネーチャードクトルなるものは全米國に極く少數です、其中で最も大なるはニウヨーク市第五街のベネデクト師のアメリカン天然治療院です。多くの肺患者は一日に十人より取扱はぬ師の門に押かけ、二週間目に初めて治療を受けろと云ふ様な有様です、師は最近十年間に二億圓の謝禮を受けたと米國の新聞は報じて居る。師の手に觸るゝ大抵の肺患者は四週間位で全治する。米國人は稱して『技術以外に神の力を與へられたる人』と呼んで居る）に入りて二ケ年學び、更にモントゴメリー・アービング先生のインスチチユトに入りて四年學び、彼方（米國）でも人に敎へたり、又治療したりして、居たのであるが、今回歸國し、之れから日本で希望の人達に治療を加へると共に、自然療法に就ての思想を廣く知らしめたいと思つて居る。特に肺病の自然療法は私の特意とする所であつて、初期、二期までのものならば、キツト癒して見せる。

私共の特權

遺傳の爲めとか、其の胎內にある間に母が過てこけて腹を打つたとかで、病弱に生れたり片輪になつて生れたりするが、普通には、小供は此の世に生れた時に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は完全なものなのである。されば私共は、天然の法則に違反したことさへせねば、五十年とか、百年とか、與へられたる特權のある間は、病氣なしに生存を續けて、一生を過ごすことが出來る筈のものである。ソレが出來ずに、百年生きるべき壽命を五十年に短縮し、而かも其の五十年間も、大部分病氣で過ごす人の多いのは、全く生理を知らず、天然の法則を知らず、無理をする結果である。

自然療法を說く人の中に、水療法を主として說くものもあれば、日光浴を主として說くものもあり、深呼吸を主として說くものもあれば、砂浴を主として說くものもあり。運動を主として說くものもあれば、食養法を主として說くものもある。色々樣々ですが、要するに自然の要素、水、空氣、日光、食物、睡眠休息などを利用して、人の病氣を治療し、若くば其健康を囘復しようと云ふのが、自然療法の主眼とする所である。

第一　運動の事

此の宇宙は活動で成立して居る。宇宙間のものは一として活動せざるはない。されば人間の身體にも活動が入用である。流るゝ水の腐らぬが如く、人間の身體も、運動さへ適當にやれば病氣になる樣なことはない縱し又不幸にして病氣になつても、小さな池の水は天氣が續けば不潔になるが、大雨が降り大暴風があれば其の水忽ち清くなる如く、生理學に叶つた運動を其の身體に與ふれば、病氣は忽ち癒へるものである。

運動不足の人の血管が次第に細くなり、又其の彈力が弱くなる。ソコで自然血液の循環が惡くなるから、衰弱もすれば病氣にもなるのである。而して遂には死を早めるに至るのである。ソレを防ぐには學理に叶うた運動を爲すの外はない。

米國などにも能くあることですが、拳鬪家の立派な體格に惹れ込んで、其の人から體操法を習ひ、若しくは基督敎青年會の運動場で、敎師から運動法を習つて反て健康を害し、若しくば死んだものさへもある。之れは運動が其の人の體力に過ぎたからである。如何に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

運動が大切であると云つても、人々其の健康の度に比例して、其の運動法なり、運動の度なりが違はねばならぬ。特に虚弱な人や病人にありては、此の點に最も注意せねばならぬのであるから、自然醫の診察を受けて、其の指導の下に、適當な運動をしないと、運動が病氣治療の助けとはならぬ。

病氣のある方や、虚弱な方は、私の所へお出なさい適當な運動法を具體的に敎へて上げましよう。

深呼吸も亦一種の技術

私共が全く呼吸をしないと思ふ時でも、何時も肺に多少の空氣が殘つて居る、之れを停留氣と稱する。私共はコウ話をして居る時に呼吸して居るのを吸氣(タイダル、エヤ)と稱する。此の吸氣丈けでは私共の肺臟にある六百萬の氣胞が悉く膨脹しない。其の氣胞の十分の一位は萎縮したまゝで居る。ソレであるから深呼吸をしないで居ると、十分の一の氣胞は遂には全く彈力がなくなつて了ふ。獨り氣胞のみならず、氣管も深呼吸しない人のは充分に活動しないから、萎縮して來る。ソレで斯かる人は若し結核菌でも吸ひ込むと、直ぐ侵されて了ふのである。されば肺病や氣管技加多留にかゝるまじとする方々は、務めて深呼吸を爲さねばならぬ。

又赤血球は一呼吸毎に、體内に出來た炭酸瓦斯を心臟へ持て行ては、心臟から新しい酸素と窒素を貰つて歸るのである。私共の血液は之れによつて淸めらるゝのである、されば能く深呼吸をする人の血液は、深呼吸をせぬ人の血液よりも淸潔であるべき筈である。

けれども此の深呼吸も一つの技術であつて、無闇に深呼吸をすれば、反て死ぬ樣なことがある。深呼吸も運動と同じく、專門的に學理的に學んだ人の敎を受けて、適當にやらねばならぬのである。私は前にも申した如く之れを專門的、學理的に學んだものである。

(未完)

葛岡先生の治療を受けたき方は本社へ申込んで下さい、紹介の勞をとります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭の純潔

久留天豪

私は我が國の家庭を改良するのには、何よりさき、先づ第一に家庭を純潔にするといふことが必要であらうと思ふ。今日多くの家庭を見るに何れも不純である。純潔では無い。而して家庭を純潔ならしむるには、どうしても夫婦間に愛情がなければならぬ。愛情なき夫婦に家庭の純潔を望むのは、丁度木に椽りて魚を求むるの類である。我が國の家庭が多く不純なのは、畢竟夫婦間に愛情がないからである。妻は夫を愛せずして、却て他の男を想ひ、又、夫は妻をすて家庭を忘れて、旺んに花柳界に出沒するといふのが、我が國の現狀である。然ら家庭にどうして純潔を保つ事が出來やう。然ら家庭が純潔でなければ、色々の不都合が生ずるものである。殊に子供を養育する上に大なる障害を生ずる。彼の上流社會及び下流社會等より不良少年等を出すのはこれ等の階級が、中流社會に比較して家庭が亂れてゐるからである。

されば私は家庭を改良する手始めとして、先づ其の純潔を保つことを必要とする。然も其の根本は夫婦間の愛情にあるのであるから、戀愛中心の結婚法を奬める。今日行つてゐる樣な「見合結婚」や「寫眞結婚」を排斥して戀愛に基く進步的合理的結婚を唱へる。男女混合敎育、男女交際大いに宜しい。そして相互に理解あり、愛情ある家庭を作ることが出來れば、忌はしき離婚問題や、貞操問題のやうなものは其の跡をひそめるであらう、從つて家庭の純潔を保つことが出來やうと思ふ。

——大正四年十二月ある寒い夜——

自覺と誠

明星

自己について或は家庭についてまたは社會について望むこは色々ある、しかし望むことは必ずしも實現されるものではない。といふやうなことが一時私を悲しませた。けれどそれは極めて皮相な考へであつた希望の實現！ なんと大な問題だらう、私はそれの大さを未だよく知らなかつたのだ。また如何な性質のものかも知らなかつたのだ。そして今無窮の希望の前に跪く道を悟り術を知つた。それは自覺と誠である。

自覺と誠！ 私はこれを信仰とし自制律として、せめても命と共に道守したいものである。自覺と誠と、それは必ず希望を實現する鍵となり、命を安へる歌ともなり得べきことゝ私は信じる。

家庭の改良！ それについて私は彼れこれ五年間家事をとつた經驗について考へたことも少くはない。然し私はまだ〳〵それを公言するには早い。まだ〳〵經驗が淺い。眞に自覺すればする程世間が大きく自分が小さく見えて來る。そして自分を大きくするには先づ自己に誠でなければならない、誠の力が眞の命の力となつて居なければならない、家庭の改良も社會に對する貢獻も自らに誠がなければなにが出來やうか。

私が特に信じ望まんとするのは自覺と誠である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

純日本製のレントゲン管球

外國では人に捩られ骨を折られたなどと云ふ騒ぎが持上つた時などには、其の局部をレントゲン線で撮影して、法廷に出さればならぬ樣に規定されて居る國もある位、レントゲン線は顯微鏡と共に、完全な醫院にはなくてはならぬものになつた、以前は主として骨折とか異物の存在と云ふ樣な、外科的方面の診斷に應用せられて居たが、近來は內科的診斷にも汎く應用せらるゝようになり、肺の組織の如きも綿密に調べることが出來、肺結核や肋膜炎の浸出液の存在すら容易に檢査することが出來るようになつたされば第一流の病院では、獨立したレントゲン部が設立せられ、內外科を問はず一應患者を此處へ送くつて、其の診斷治療の上に多くレントゲン部の醫院の意見を徵することになつて居る我國に於ても之れが使用は日一日と盛んになりつゝあるのである。然るに我國ではレントゲン管球は出來ないので、歐洲の大亂で、其の輸入杜絕するや、斯道專門家の研究並に治療に一大頓挫を來して居たが、幸にも今回、東京電氣株式會社の實驗室長藤井鐵也氏が、研究に研究を重ねた結果、ギベ、レントゲン管球の製作を發明せられた。之れは洵に悅こばしきことである。(ギハと云ふ語は俗に書樂扇鶴の書樂で生き還ると云ふ意味を有するものである)

電氣設備の完全なる郊外理想鄉

山の手線の目白驛の四方高臺のこんもりと茂つた近衛公爵邸の森の前面に、愛隣園と云ふのがある。

此の愛隣園(千六百六十坪)では、電力によつて常に水槽二個に二千ガロンの水量を湛へ、二十五所の水壓で十二軒に供給して別に料金を徵收せず、又電燈は一ケ月一燈二キロワット時までは無料として、其以上を超過せる分は一臺時九錢の割合で計算することにして、一家每に一〇アムペアのメートルを据付け、熱用として電氣を使用するも瓦斯に劣らぬ廉價のものとなり珈琲が電熱で沸かされるに至つたのである。

電流は桂川水電から供給を受け、一ケ月最低負荷量二百基時の契約で、一基時四錢五厘の特價であり、此の設備に對する電力は一ケ月僅かに平均二拾圓前後に過ぎず、一軒當りにせば壹圓六拾錢內外の低廉なものである。

猶ほ電燈取付費は平均一燈五圓、水道設備は一家屋三圓五拾錢であり、家賃は二十ケ年償却の計算で決定せられて居ることである。

園主片山氏は住む人に恰も自分の持家のような感じを持たせ、又其の區劃を殆んど永住地として親み易い所にしたいとの希望によつて、中庭に共同の東屋を設け、ボタン信號による電話の共同使用をなし、二軒に一個の割合に消防裝置を施し、石造凝固土の溝を穿ちて排水をなし夜番を附して安寧を保つなど間然するところはない。

電力は如斯使用によつてこそ初めて其の標的に達した感がする。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

戀瞽女と人生と

小生夢坊

（一）

人生は寂しい旅である。夕にははかない逢瀬を樂しんでも、朝にはまた西へ東へと別れなければならない、悲しい旅である。

むざんなるかな秋月の娘深雪は永遠に戀人を探ね歩く目なし鳥であつた。都の住居一年、宇治の螢狩にふと若い侍を戀初めた。短かい夏の夜は、このうら若い二人の初戀の樂しい逢瀬に、充分の甘い歡樂を與へる事が出來なかつた。あかぬ別れを悲しんで、深雪は泣く〳〵都を立去つた。

たま〳〵二人は松風かなしい明石の濱邊で、ふと出逢つた。舟は異つても、戀に燃えて居る二人の心は一つ。深雪は心に深く秘めた、戀の秘密を、あはれ十三絃の音に通はせて、濱の松風よりも悲しい音律を震はせて居た折から、つれない嵐に吹分けられ、互の船は右へ左へと、永久に別れて了つた。

どんな熱烈な麗はしい戀でも、男には唯それは生の瞬間に於てのみ華やかな裝飾であり、賑かな挿話であるに止まる。而し、女に取つては戀愛は女の生命の全部であり、女自身が既に戀愛の化身であるのだ。

ほいない別離を悲しみつつ國へ歸れば、思ひも寄らぬ父母の夫定め。……深雪は忘れかねたる戀の幻影を夢みつゝ到頭國を迷ひ出た。それにしても、數々の憂目をしのんで都路へ登つて聞けば、その人はあづまの旅、おゝ何んたる悲しき運命の惡戲であらう……。

詮方なく〳〵『又も都を迷ひいで、いつかは廻り逢坂の關路を跡に近江路や、美濃尾張さへ定めなく〳〵』天

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

にも地にも唯一人、こひしい夫の行方を探ね廻つてゐた。

小雨けむる辻堂の夕、悪漢に襲はれし峠の夜、戀し〱と思ふ涙の瀧津瀬は、とう〱彼女を盲目にしてしまつた。戀にやつれて、旅から旅へ渡り行く盲目の女。……お前はいつお前の全生命を捧げて探ぬる戀人に逢ふことが叶ふであらうか。

戀は盲目である。戀ばかりではない。人間の『力』その物が既に盲目であるのだ。力なき人間と云ふ弱い生物は、ただ『運命』といふ皮肉な、殘虐な、劇詩人のプロットの技巧のまに〱引づられて行く外はないのだ。

女が幼い淡い戀の甘味を忘れかねつゝ、盲目になつて迄も、夫の行方を尋ね廻つて居るのに、男はもう中國の大名に抱へられて、名譽も地位もある立派な武士になつてゐた。名さへも宮城阿曾次郎の優しい名を變へて、駒澤次郎左衛門といふいかめしい姓名をなのつてゐた。

（二）

張ませ歌の衝立と、夜の襖のすきもる風にゆらぐ燈火の影と。そこは寂しい驛路の『宿屋』である。夕に疲れたる旅人を迎へて、朝に又永遠の旅へその人を送る假の宿である。――李白は天地萬物逆旅と歌つた。實に『宿屋』は人生の姿そのものである。生の情調は『宿屋』の寂しい氣分そのものに外ならない。

かうした力強い淋しさの滿ち充ちた生の背景に駒澤と朝顔とは思ひ掛けもなく、めぐり逢うた。『つたない調べもお笑ひ草、おはもじさまや』と、現在、年月尋ぬる我身の戀人を前にひかへながら、優しくも會釋する。

朝顔の姿――深雪の馴の果――何たる悲惨な生の瞬間ぞ。駒澤は、せぐり來る涙をジッと控へて、靜かに哀音の一ふし一節を聞いてゐた。あはれ朝顔は『こがるゝ夫のあるぞ共、しらぬ目くらの探り手に、戀ゆゑ心盡し琴、誰かは憂を斗爲吟の、糸より細き指先き』

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

で、悲しい悲しい音律をふるはせた。
『露のひぬ間の朝がほを、照す日かげのつれなさに』宿や宿屋のお客の、つれづれのお伽に唄ふつらさ。―むらさめのハラ〳〵とふれかし。

噫、而し運命の神は何處まで戯曲の筋を運んでゆくのか。どこまで悲しいその傀儡の糸を切らないのか。

男は武士道といふ皮層な慘忍な假面に、切ない情を蔽はねばならなかつた。女は眞の盲目に、戀人の姿を見ることが出來なかつた。――假面と盲目――かくして戀人と戀人とは、再び永い離別をしなければならなかつた。

あらゆる人生の悲劇は『人間性の盲目』と『社會因襲の假面』との二つから展開して來る。

曉七ツの時計がなつた。男は後に心を殘して旅立つた。女は男の聲に氣がかゝり、もとの宿屋へ歸つて來た。雨がしのゝを亂して降つて來た。男の旅立つた後であつた。もはや過ぎ去つた運命の戯曲の一くさりであつた。

……エ、知らなんだ、知らなんだ、しらなんだわいなア……。

『イエ〳〵譬へ死んでもいとひはせぬ』戀に狂ひつゝ盲目の女、どしやぶる夜の雨と闇とを衝いて、ひた走りに走つて、男の後を追うた。……生の執着から離れた女の念力、人間の力、それは何物よりも强烈な力を有してゐる。が、しかし、而し自然と運命は夫れよりも尚ほ偉大であつた。見よ。突刎刎退杖を力にたより走る瞽女の前には、突然、自然の怪物、街道一の大井川が横はつたではないか。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

三十女の日記

東大寺多代

『御母様は？　あなたは母様は？』
と問ひたかつた。が萬一も細い聲を顫はせて
『無いの』と俛れはせぬであらうか。
山影などの浸されてある長閑な水面に、死など打投けて、美しい繪を掻き消してはならぬと、毎も問はですぎて來た。そもあの姉弟には母親は無いのであらうか。

お湯の好きな私はそれが横雨の頬を切る様な晩であらうとも、霜のあした眉を寄せる人の心は讀めながらも、ぢり〳〵皮膚の燒つく様な熱湯の中に、身も心もひたと潤けて、ふうつと息つく程は何者にも替へ難い。

「さあいらつしやい」とある時浴槽の中から兩手をさしのべて、石の様に冷えて居るくる〳〵した其男の子を、いぢらしと抱きとつて溫めてあげた、ある時は皹のいた〳〵しい踵を洗うて遣つた。

鑵と金魚を袂に入れて、小さい彼や來ると二日三日を待ち渡つた、生憎の行違ひか、それとも風でもひいたのでは……いつそ母様は？　おゝちゝ、といふ會話が取交して置きたかつた。十歳ばかりの姉チャンに連れられて來る、頭の大きいキユーピットの様な其兒がとかく心に動いて寒い夜を寢ねがてにする。

○月△日

何しろお湯はよい洗湯はよい。今日も亦洗湯論で塞る。女達の忙しさや火のもとの心遣ひがなうて、洗湯は心易い。

春暮の午すぎ頃、白い梨の花瓣が三つ四つ二つ、流場の硝子戸に係るのを、凝と眺めてあると、お寺の庫裏に似たその楝木のあたりから、鋭い日がさし込んで

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いとゞ屋内を暗う思はせる。冷やりとした板の上に、さとお湯を流してふうわりした自分をそつと置く。

雨の日はとりわけてよい、立迷ふ湯氣の中に濃い額つきやら赤い手柄が、ぼうつと霞んだ中に隱見するのは趣がある。

安閑といふよりも寧ろ空虚に近い日送りをして居たら、それは好きになりますわ、Hさん『今日は柚湯』の張札こそは、なつかしいもの丶一つである。去年はわざわざ槇町まで冬至のお湯にいたことよ。

島田や桃われのつや〳〵しさ、よい格合の彼らの容姿、艶な面もあどけない話題よ——多くの男子の欲するのは、恁うした際であらう? 其あどけなさにゝ自然飽いて來ると、養ひ難しとか何とか論理めいたことをいふ。思へば勝手な言分ではあるが、一にも二にも我が頭腦を使ふ澁滯つた女にも亦罪が無いともいへぬ。彼に手を執つてもらふのを光榮とし淑女といはれるゆゑに、何時までも溫暖い戸内に坐つて居るのは賢い仕方であらうか。

あまりに淑すぎては、あづさ弓春もゆいて、夏も往ぬ、秋の日脚の短かさを繰り返しつゝ又、我が經て來た泥濘や石塊路へ、さは我兒らをも案内するのであらうか。

どうかお互に理解しあうて、切ては遲鈍い步調だけでも揃はせたい。無駄な勞苦は省きたい心する人々がぼつ〳〵植ゑ付けた苗木を、たゞ徒に拔きとつて、山を坊主にしてはならぬ。ましては彼の始皇の爲めに阿房宮造營の料に、こんな樹を使用することは、ぜひ禁じたい。

女同士は兩方から、もつとずつと接近しあうて、熱をもち、潤をもつて、あの淺碧の天のやうに、海のやうに、寛にのびやかに、語りあひたい。此頃の落葉のやうにかさこそしたうない、女同士は……

いつの時でも前進者が、骨を削つて窖道を掘つて行く、と直ぐ又反對の窖道を掘つて來るのが同性である終には之を崩し彼を潰す、光線も微かな穴の中で爭鬪を是れ事とする、あはれ六國を滅するものは六國では

あるまいか。

○月△日

お正月が近寄つて來た、姉妹にお手玉を拵へて遣つて居る針の手が氷つて來る。

吹き荒ぶ風の中に船呼ばふらしく、まに〳〵聞える沖へ沖へと流されゆく小さい舟を、心あてに眞黒な海際に立つて、闇を凝視てある若い女は、還させ給へ、戻させよと祈つて居る事であらう……

未だ三十に間のある乳母は、其夜の事をまたしても語るのである、「何て御寒う御座りませう、でも夕方から出た風ゆゑ、船は無難で御座りませう」と安心らしく炭を加いで呉れた。漁夫の妻であつたこの人の言葉に、心稍平になつた。

○月△日

晶子樣の雜記帳を得て、思はず夜を更した。その文學的生活といふ頁に至つて、私は息を呑んだ。女史をして鳥のうたふやうに思が湧くまゝに、はた蝶のやうに、無邊の天地に其翼を張せたい、舞はせたい、歌はせたい。

○月△日

女が社會の根本を支配して居るといふ、實際に於て戰爭も婦人が爲てゐるというてよい狀態にあるかの地の人の抱負と、剛健な意志を心にくゝ思ふかな。

まづ體力から、頭腦から、手に、足に――強く、重く、堅固に、明快に、……人一倍散漫な數理の念のとぼしい私は、いとゞ其事を思うてやまぬ。

○月△日

お辨當を持つて行つた二年の兒が、いきせきお晝に歸つて來た。はつと私は胸引緊めて、急ぎ出て見た

「どうしたの和さん？」

「母さん、治つたの？　然う」ぢやあ僕失敬ッと飛んで行つた。

今朝、彼の爪を取つて遣つて居たら、あつと思ふ間もあらせず、それが私の瞼に突入つた、時間が逼つてゐたので彼は心を殘して學校へいつたのであつた。

母親の感化大をいふけれども、自分などは無邪氣な彼らの深切で屢々淨化されるのである。（十二月十三日）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大正新時代の龍宮

中南定太郎

△昔――昔の其昔の何時の頃かは知らず浦島太郎が龜にのつて龍宮に到り乙姫の甘き愛の中に三百年を夢と暮し一朝故國の濱に歸りてみれば身は鶴髮の老翁と化して亦一の舊知なかりしと云ふ童話は日本人たるものゝ誰として知らぬ者なき物語である。

△さる學者は之を以て、往時に於ける我が日本人の南進思想を最もよく代表したる國民口碑であるとしてゐる即ち龍宮とは琉球の事であつて琉球の理想化されたものが龍宮であると云ふのである。實に日暖かに綠濃き南洋の地は我が日本人の常に憧憬する理想境であつたに違ひない。曰く高砂(臺灣)曰く天竺(印度)如何に是等の地名が詩歌的に取扱はれてゐるか。

△現に往時琉球人が江戸へ拜禮に來た時、江戸人は皆龍宮から使者が來たと云つて大騷ぎをしたものである。其琉球の使者が江戸の町を通行する時なぞ町並の町家は皆商を休み大戸を下し棧敷をかけて見物した。亦身分ある諸大名なぞも下人に雜つて之を見物したとある。かの佐藤一齋の如き官位高き學者迄接待員の中に交つて琉球人を見物したと云ふ。其時の使者は殘念にも男ばかりで女がゐないので、口惡の江戸つ子は「乙姫樣が來ないは恨みだ」と評したとあるが、以て如何に往時の日本人が南洋の理想境に強い憧憬を以てゐたかが知れよう。

△それ以來、この國民的南進主義には一盛一衰ありて、最近迄は北守南進主義と南守北進主義とが兩々勢を張つてゐたが、今や國民の耳目は全然一致して南進北守を主義とするに到つた。

△曰くマーシャル群島、カロリン群島渺茫たる南洋の中途に今や日章旗の飜る處が出來たのである。誰か之を見て南進を叫ばざるものあらう。北進の迂をなすものあらか。北氷洋に龍宮はない。白熊の穴のみである。

△南へ南へ! 我等の同胞は既往に於て琉球を得、更に高砂を得た。大正の我等は今將た何をなすべきか。新しき龍宮を得る事である。新らしき乙姫の愛を求むべきことである。マーシャルは只其發程の一歩に過ぎない。眼を擧げて海の彼方を見よ。印度の沃土濠洲の曠地は煌々として我等の到るを待つてゐるのである。我が商權の到る處其處に黃金無垢の乙姫を見よう。其待つは大正新時代の浦島である。

△沖の島山安南國よ、珊瑚瑪瑙が流れ寄る(捕鯨夫唄)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

昨今

天川陽子

捉へどころのないやうなつまらない生活を續けてゐるお葉は、自分の天性に反對な境遇に浸つてゐるので毎日何事にもしみじみと仕事に氣のりがしない。

二三日前から雨模樣ばかりしてゐて降りさうで降らない淋びしみのある日和である、黄色に染つたいろいろの木葉が凋落してパラパラと地上に落ちてゆく風情は人の世の葉末の露の儚さを偲ばしめる。

窓際の机に向つてゐたお葉は此の頃は殊に世の中の凡ては遊戯に見えてならない、どんなに人が眞面目に働いてゐるのでも、結局遊戯に見えて了ふ。彼の頭には絶えずこの樣な思ひが兆されてゐるのである。彼れは今日は朝から思索し創造を續けてゐた。

この家の主人の姪に當るお町と呼ぶ娘十八歳位で此の春の頃に親の貧乏の爲めに藝者となつた、藝名は小好といふのださうだ。

『お叔母さん御仕事……』、

あまつたるい調子でかう聲をかけたのは藝者の小好であつた、それからおきまりのやうに長火鉢の側にすわつて長きせるを口にして二三ぷく吹しながら、

『もうお正月もすぐねえ、毎日ひまでお茶ひきばかりよ困つて了ふわ、自分の仕度もしたりお茶屋やら女中達への贈ものをしなければならないしさ、贈ものが尠いと呼んでくれないからねえ、此頃心配ばかりしてゐるので瘠せて了ふわ、だから私早く素人になりたいのよ。お叔母さん。

響きのにぶい叔母は、

『ほんとうにそんなにひまでは困つて了ふねえ、ひまでも良い旦那がつけばいゝがねえ』

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

かうした二人の會話を聞いてゐた、隣室のお葉はなんて悲哀なる話であらうこの樣な可愛想な藝者もあるのである、寧ろこの種の藝者が多いのだ、同性の弱いものがかうした藝者となつて强い男の氣嫌とつたり、弄ばれたり、勿論愛も戀もないのに金の爲めに尊い肉の切賣りをしてゐるのかと思はず戰慄を覺えた。併し御當人は何んの感じもないらしい。彼等の生命の全部は金である、金が生命であり生命が金であるのだ。全く人生の生活の根本は金である今更の如くに感じた何時も何時もわれ／＼の生活が內的に外的に相調和し、進んで行くところに眞の生の呼吸を聞く事が出來る、われ／＼は常に此の双翼を失ふことなく豐富にしなければならない。家庭を作つて若し此の大なる二ツの條件が實現されなかつたなら、人は尤も不幸な人生を辿らなければならないのである。

子供を藝者に賣らなければならない程貧しい親はいかばかり苦痛であらう、親は子を捨て子は親に離れねばならない、そこにどれだけの神の愛があるだらう、人間社會生活の悲慘なみじめな態はいやが上にも眼の前に曝け出される、追々社會の裏面の複雜した問題を早く後向きにして了ひたくなつてきた。

譬ひ刹那の此の思より、此の遣瀨ない情緖の絆よりのがれたいと、今まで讀みかけてゐた本を傍においたのに再び眼を通し始めたが、容易に離れられない、複雜した纏らない思想の翼は擴るばかり、窓外の葉摺れの音にフト向側の屋敷の堤をガラス窓を透して眺めながら。

『私はどうして此の頃こんなに頭が錯雜するのだろう』

と獨語した。

戀、愛、獨占といふ事が頭の中にむら／＼と湧き上つてきた全身の血潮が逆流し初めた。

『あのT樣の御口から發する御言葉の一ツ一ツを全生命としてゐる私は彼の人の凡てを丸呑してゐるのだ、T樣に囚はれてゐるのだ、T樣に醉うてゐるのだ、囚はれて、さうして醉うたまゝ死にたい、かうした幸福

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

な願ひを果して現實する事が出來るかどうかと絶えず心配でならない、自分を愛して下さる理解して下さるT樣を時々疑つて見たりする、然し私のかう疑ふのも決して無意味ではない、いつか二人ぎりの對話の時に

『僕はお前をすつかりわすれて了ふ事があるよ、それはこんな場合に多い新たに出來た女の友達の事をその一日二日は絶えず思ふ事がある、然しそれは惡い意味にとつてはいけない』

此の言葉を聞いた時、私の心は燒きつくやうな熱き血に燃えてゐた、あ――一層死んで了ひたいとまで思つたが、時間が進むと同時に熱も薄らいだ。冷靜な頭で考へて見ると、あゝ仰しやつた事は彼の方の衷心に何の覆ひもなく潔白な告白である、男子の本能性を赤裸々に曝け出したのだと思はれる。かう思へば頼しい嬉しさに堪へられない時間と距離が遠ざかれば遠ざかる程、熱き愛、深い思ひは增すばかりであるがこの樣な私の眞心がT樣に通じないのかしら……――……不安と動搖の波が犇々と胸一ぱいに襲うてくる。

不意に障子の明く音に驚き振り返つたお葉はニコニコしながら。

『あら誰れだとおもつたら、ゐらつしやい』

『ねえさんお獨り何をしてゐらつしやるの、茫然してさ、何か考へ込んで、おたのしみ』

『隨分ね、何もたのしみな事はないのよ、心配してゐたのよ』

『ねえさん先達ての話の事さ、隨分でせう、すつかり寢返つて了つたわ、今迄私は實をつくしてゐたのにあんまりだわ、一生恨んでやるのよ、それで花枝といふ近所の藝者を呼んでゐるのですつてさ、今まで私を生さず殺さずしておいて、何んて罪なやつでせう』

生氣の足らない面影、感情的な目つきで憤慨して訴へるやうな小好のこの樣子を見つめながら、机の角に體をもたせて聞いて居たお葉は、いかにも同情に堪へない態で、

『まあとう〱駄目だつたの、最後の手段をつくしてもにげるなら到底駄目だから、さつぱりあきらめなさ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

い、強くなつてそれ以上のお客を捉へた方がいゝわ』
『いつそさうするわ、外に思案はないから』
赤き襦袢の袖にそつと涙をぬぐうてゐた、
『とんだ失禮を致しました、さよなら』
小好の去つた後姿を見送て再びお葉は深い考へにおちた。

藝者生活の裏面を見れば十中の七八はむゝした境遇の者が多いのだから、思へば寧ろ弱者の極だ、これを責めずに救うてやりたい。

かういふものの自分は未だその自由を許さない立場にゐる、自分のあまりに無自覺である事を恥ぢてならない。

考へにあきたお葉は縫ひかけの仕事を取り出した、而して今洗濯をして濟んで這入つて來た妹と二人で、亡き母の事を物語り始めた。
『お母さんが（親に優つた人間にならなくつてはいけない）よくいつてゐらつしやつたね、だから私達はもう少し確乎しなければよ』
『お姉さんほんとうにこれから勉強しましやうよ、内的に豊富ね、さうしたらお母さんも蔭で悦んで下さるでせう』
日も暮れて外には寒い風が吹いてゐる、塵は用捨なく吸ひ込んで机の上は眞白になつてゐた、豆腐やの聲人の足音、自動車、荷車の音がいやに響く、瓦斯燈の光が窓から流れ込んで、お正月のおさらひの三味線の音がすんで聞えてくる。（十二月二日）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

編輯の後

文子

▲何處の雑誌を見ても、年末年始には明年は層一層勉強するとか、今年は大發展、大擴張するとか、又は具體的に何をしやう彼をしやうと並べたててあります、これは毎年の事で一寸見るとお定り文句で型にはまつて居る様に見えますが決してさうでなく、誰れでも年末年始にさしかゝるとさうした感じを持つのです。

私は昨年の始めには何でも讀者を増やさう増やさうと決心しました、果してどれ丈けの結果があるか分らないが一生懸命奮闘し様と思ひたちました。微力ながら愛讀者諸氏の御加護によつて豫想以上に擴まりました。さて今年の始めには内容をよい上にもよくしなければならぬ、内容さへよくて有益であれば一人は一人へと傳へられるに違ひない、昨年の考へはまだ末であつた又例令傳へられないにしても讀者が一人でもああこの記事を見てこれ丈け益を得たと考へて下されば充分意義があると思ひます、分量よりは質、品質をよくしやうと切に感じました、外より内へとすゝんだ雑誌に對するこの考へで私の一年間の進歩を見る事が出來ます。新年號を改良號といたしましたのも自分のさう云ふ心持ちを喜ぶのと新年に際して家庭の改良を考へたり實行するのは無意味でないから、皆さんの爲めにも有益であらうと思つてゝあります●

▲だん／＼私どもの精神を理解して下さいまして、恩師知己殊に舊い同窓の方々から、懐かしいうれしい御手紙を頂きます、昨今の先輩知人より親切にしていたゞくのはもとより有がたいと思ひますが、それは廣い社會から同趣味同思想の方をえり出したのだとも思ひますが、でない親戚や舊い友人で賛成を表して來て下さる御手紙を頂いた時ほどうれしく思ふ事はありません。それ等の多くの御手紙に對し丁寧なる御返事をと思ひながら、つい其の日／＼と追はれて失禮いたします、決して心なき爲めではなくて多忙のためで御座いますから幾重にも御海容のほどを願ひます。

▲唐澤様より　おはがきありがとう厶います。實は私、先月末から病氣でねこんでます、毎日可なりの熱でこまります昨日は三十九度から四十度の間でまる一日くるしみました。ひとりポッチですから都合のわるい事。讀む事も書くことも、考へる事も、動く事も全てを禁ぜられてます。しかし考へる事だけは、どんなえらい人だつて奪ふわけにはゆきません。初めは惡い病かと思ひましたがさうでもないさうで。人間性をまる出しにした自己のみぐるしいもがく形を時々見てはなさけなくなります。まだ當分筆はとれないでせう腦を大分いためてますからしかし心は至極平和です、いつでも安心してます。何かかいて見たいと思ふのですが何しろこんな字しかかけないんですもの、これでも熱を四五分高めるのを豫期して努力してこのハガキをかくのです。苦しむだけ苦しめばよくなるでせう。

▲明子様より　いよ／＼年のくれになつて參りまして一日／＼心細いやうな氣持ちが致します、ほんとうに願ることの一年間は夢のやうにすぎて了ひましたあれも是も希望を抱きながら萬分の一も實現されなかつたやうでございます、ほんとうに時間をだらしなく過すほどつまらないものは御座いませんね外國の人に時間を尋ねますと何時何十分何びようと必ず正確に答へてくれます、が日本人に時間をきくと何時とか何時半とかいつて何分何びようといふことはあたまから無關係な様な心得で居ります、之を比較して見ても日本人は隨分時間に無頓着な人種だと見定るより外ありません、こんなだらしない世間に生活してゐる私はつい／＼周圍のだらしなさを平氣で見てゐて自分までもだらしなくなつて了つて困ります、でも十二月に入つ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

てからまたつく／＼とだらしない生活がなしくなつて無駄にすごした月日のあしあとを泣きたいやうな心持で眺めて居ります。

▲ミドリ樣より　今更のやうに自己の愚な事に氣附いて何だか御伺ひいたすもお恥かしいやうな心地がいたされます每號出版さるゝ御誌を拜しては先生のいよ／＼御壯健にます／＼世の婦女子の爲につくさるゝ事の何よりありがたく愉快に堪へられません天晴婦人雜誌界に權威を擧げさせらるゝ日の近きを期して御まち申して居ります。

　先生十二月號の御誌拜讀いたしました常には一日をまちかれて求めます然るに今月のみはどうしても求めたいは山々なれども心のどことなく求めにくい樣な「もしや出て居たら」と云ふやうな變な感じが浮びましていたしかたがありませんでしたとう／＼六日の日求めました「出て居なければよいが」と云ふ念に滿ち／＼て居りました、先生定めし御心當りでしたかと推察して居ます、かの「婦人の婦人研究」であります實社會を渡つて見た事のない修養のない私には無理なそして最も斯樣の問題はむづかしいと思ひましたけれども「書いて見やう」と云ふ氣が張つて居ましたほんとに先生御笑ひあそばしたでせう男の樣な亂暴な書き方字もたんと間違つて居ました勿論別に考へもいたしません只感情の走るまゝに書きました、そして心の中では「惡ければ出版されないから大丈夫」只「出して見やう」の念だから何事も考へないでポストへ投げ込み逃げる樣に歸つて机に向つたまで何とも云へぬ感じがいたしましたが二時間ばかりも費して走りがきをした張りつめた勢が一時に出てしまつて今まで何をしたかと云ふ事を冷靜に考へました。「あゝシマツタ」と思ひ返した時は早や遲くありました。終りに御訂正や御斷りを認めておけばよかつた等と思ひました。

何事も經驗が第一失敗しなければ事は成らぬとあきらめて居ました然るに一日となるとどうしても氣がおちつきません、六日までの間何とも云へぬ今まで覺えのない一種の感情が湧き出しました、そしていよ／＼出版されて居る事を見て思はず恥かしくさすが顏がほてりました、只私は文章でも作るやうに學校であり來つた形式的のものであつた眞に世の婦人方の爲になるやうに書けなかつた事を自覺しましたにすぎない事と知りますと同時に一層注意して落ちついて書かればならん事を知りました名を印しませんから御承知にはなるまいと思つて安心もして見ましたが御明斷な先生には御承知であらうと思つては又私は默つて居られなくなりました、亂暴な事どもかきました未だ書くだけの身分も人格も修養もないと思ふとどの樣に書いてよいか解りませんでした、何とぞ先生今後も御導きのほど御願ひ申します。

▲久留天豪樣より　先日は新眞婦人御送り下さいまして有難ふ。

　新年號として家庭改良號を御出しになる由、僕は平常我が國の不健全なる無意味なる家庭を改良するの必要あるを認めて居る者でありますから、今度の御計畫を最も意味ある者と存じます。僕も寸暇があれば大いに論じて見度いと思つて居ります。

　先生に宜しく御鶴聲の程願ひます。

▲栃木樣より　拜啓其の後は御無音に致し候先日御紹介申上候ひし、新眞婦人へ寄稿し下さる筈の醫士、渡邊金五郎氏は淺草區東仲町十八番地にて女子商業學校講師農學士伊東春治氏は本鄕區駒込曙町十三番地に御座候、私本月の上旬再び新眞婦人の理想を物し執筆を乞ひて置き候に多忙の爲め近々中に兩氏等を訪問するの時を得ず新年號には或は間に合はざるやもはかり難く候へども尙貴下よりも古き殘本あらば內容見本としてお送り下されまじく候や私僭越に候も此事願はしく候何れ詳細は御目もじの折申上ぐ可く、若き靑年淑女達の爲め御自愛なされ益々愛と義務とに努力せられんことを切望致し候乍末筆御主人へもよろしく、敬具

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

西川光次郎主筆

自働道話

平易簡明に、實践道徳、新道徳を説く雑誌にして、新年號の要目左の如し

△元日や又うかうかの始かな(西川光次郎) △舌切雀のつゞら(西川光次郎) △断食で胃病と便秘と頭痛を癒した話(シンクレヤ) △心を新にする工夫(卜堂) △心身強健術講話(川合春充) △運の話(竹内師水) △健康問答(聞愛天)

▲四六倍形八頁
▲一部郵税共二錢五厘
▲一年同卅錢
▲毎月一日發行

新眞婦人合本(自一號至十二號) 定價郵税共一圓

合本第二巻(自十三號至二十四號) 同

新眞婦人社

本社の相談部

▲本社内に相談部を設け

(1) 職業を求むる御婦人
(2) 職業の選擇に迷ふ御婦人
(3) 家庭及び一身上に苦悶ある御婦人
(4) 結婚の事

等の御相談に應じます

▲相談部の主任に面會したき御婦人は、午後四時より御出で下さい。

なほ右の件につき手紙で御相談下されば、直接又は誌上にて御答へすることにいたします。

御來社の方々へ

平常は多忙で切角お出下されても、失禮勝ですから、成るべく日曜日に御出で下さい。日曜日には、止むを得ざる場合の外は、外出しませんから(文子)

新眞婦人定價表(毎月一回一日發行)

一冊(郵税共)拾壹錢
半年分(郵税共前金)六拾錢
一年分(郵税共前金)壹圓拾錢

◎新眞婦人廣告料 特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正四年十二月廿八日印刷納本
大正五年一月一日發行

發行兼編輯人及印刷人 本郷區駒込動坂町三二七番地 西川文子

印刷所 本所區番場町四番地 凸版印刷株式會社分工場

東京市本郷區駒込動坂三二七 新眞婦人社 郵便振替貯金口座東京(二四五五六)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一、有價證券實物の賣買

一、有價證券及工場財團、鐵道財團、軌道財團等を擔保とする金融の仲介

一、公債、社債の發行引受及募集事務

日本橋區阪本町六

合資會社紅葉屋商會

資本金百萬圓

社主 神田鐳藏

電話浪花 一三八 三〇一一 三〇一四 三〇一二 三〇一五 三〇六 三〇一三 三〇一六

大正五年はます／＼有價證券活躍の時代と存候間御用命被下度端株にてもまたは何千株にても立ところに御用便可申上候

市内は電話御呼出次第社員參上可仕候地方は電報にて御問合せ次第即時確實に御取引可申候

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

THE FIRST MAGAZINE OF WOMAN'S MOVEMENT
IN JAPAN.

新眞婦人第三十三號
大正二年四月二十六日第三種郵便物認可
大正四年十二月二十九日印刷納本
大正五年一月一日發行（毎月一回一日發行）
定價金拾錢

新眞婦人の舞臺なる
健全なる家庭に薦むる

ライオン

子供齒磨と、（贈答用ダース入美麗函）

ライオン化粧石鹼と。（進物用三個入・六個入美麗函）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA